

平成27年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		北海道		市町村類型	Ⅱ－〇		指定団体等の指定状況		区分		平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	区分		平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)
							財政健全化等	×	歳入総額	9,261,305	9,980,808	実質収支比率	9.1	8.0		
市町村名	厚岸町	地方交付税種地	2-1	財源超過	×	歳出総額	8,762,794	9,497,591	経常収支比率	82.4	87.0					
						歳入歳出差引	498,511	483,217	(※1)	(86.6)	(91.9)					
						翌年度に繰越すべき財源	10,734	64,355	標準財政規模	5,356,941	5,240,921					
						実質収支	487,777	418,862	財政力指数	0.21	0.21					
						単年度収支	68,915	39,533	公債費負担比率	15.0	16.7					
人口	27年国調(人)	9,778 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <td>×<th>積立金</th><td>200,100</td><td>50,100</td><th>健全化判断比率</th><td></td><td></td></td>	産業構造 (※5)			中部	× <th>積立金</th> <td>200,100</td> <td>50,100</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>	積立金	200,100	50,100	健全化判断比率					
	22年国調(人)	10,630 <th>過疎</th> <td>○</td> <th>繰上償還金</th> <td>100,000</td> <td>188,580</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				過疎	○	繰上償還金	100,000	188,580	実質赤字比率	-	-			
	増減率 (％)	-8.0 <th>山振</th> <td>○</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>261,152</td> <td>310,000</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	○	積立金取崩し額	261,152	310,000	連結実質赤字比率	-	-			
住民基本台帳人口 (※7)	28.01.01(人)	9,978 <th>区分</th> <th>22年国調</th> <th>17年国調</th> <th>低開発</th> <td>×<th>実質単年度収支</th><td>107,863</td><td>-31,787</td><th>実質公債費比率</th><td>12.6</td><td>13.4</td></td>	区分	22年国調	17年国調	低開発	× <th>実質単年度収支</th> <td>107,863</td> <td>-31,787</td> <th>実質公債費比率</th> <td>12.6</td> <td>13.4</td>	実質単年度収支	107,863	-31,787	実質公債費比率	12.6	13.4			
	うち日本人(人)	9,886 <th rowspan="2">第1次</th> <td>1,826</td> <td>2,034<th>指数表選定</th><td>○<td></td><td></td><th>将来負担比率</th><td>71.1</td><td>84.8</td></td></td>	第1次	1,826	2,034 <th>指数表選定</th> <td>○<td></td><td></td><th>将来負担比率</th><td>71.1</td><td>84.8</td></td>	指数表選定	○ <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>71.1</td> <td>84.8</td>			将来負担比率	71.1	84.8				
	27.01.01(人)	10,173 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>														
	うち日本人(人)	10,091 <th rowspan="2">第2次</th> <td>1,254</td> <td>1,468<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	第2次	1,254	1,468 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>											
	増減率 (％)	-1.9 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>														
面積 (km ²)	739.26 <th rowspan="2">第3次</th> <td>2,775</td> <td>2,882<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>			第3次	2,775	2,882 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>										
人口密度 (人/km ²)	13 <td>47.4</td> <td>45.1<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>				47.4	45.1 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>										
世帯数 (世帯)	4,115 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>															
職員の状況																
特別職等	区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	10,064,159	10,427,095	資金不足比率 (※4)			
	市区町村長	1	8,170 <th>一般職員</th> <td>179</td> <td>544,518</td> <td>3,042</td> <th>うち公的資金</th> <td>9,649,396</td> <td>9,947,815</td>	一般職員		179	544,518	3,042	うち公的資金	9,649,396	9,947,815					
	副市区町村長	1	6,780 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th>債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>605,982</td> <td>805,466</td>	うち消防職員		-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	605,982	805,466					
	教育長	1	6,130 <th>うち技能労務職員</th> <td>3</td> <td>11,037</td> <td>3,679</td> <th>収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td>	うち技能労務職員		3	11,037	3,679	収益事業収入	-	-					
	議会議長	1	2,920 <th>教育公務員</th> <td>3</td> <td>9,864</td> <td>3,288</td> <th>土地開発基金現在高</th> <td>-</td> <td>-</td>	教育公務員		3	9,864	3,288	土地開発基金現在高	-	-					
	議会副議長	1	2,340 <th>臨時職員</th> <td>16</td> <td>45,440</td> <td>2,840</td> <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>686,815</td> <td>497,867</td>	臨時職員		16	45,440	2,840	積立金現在高	財政調整基金	686,815	497,867				
	議会議員	11	1,830 <th>合計</th> <td>198</td> <td>599,822</td> <td>3,029</td> <th>減債基金</th> <td>690,296</td> <td>620,196</td>	合計		198	599,822	3,029		減債基金	690,296	620,196				
				ラスパイレス指数		97.0			その他特定目的基金	399,517	361,004					
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)				
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名					
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(8)	簡易水道事業特別会計	(10)	釧路東部消防組合	(13)	厚岸味覚ターミナル					
		(3)	介護保険特別会計	(7)	病院事業会計	(9)	下水道事業特別会計	(11)	釧路公立大学事務組合							
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(12)	釧路・根室広域地方税滞納整理機構							
		(5)	介護老人保健施設事業特別会計													

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,098,767	11.9	1,059,148	20.3	普通税	1,059,148	96.4	17,362	
地方譲与税	103,215	1.1	103,215	2.0	法定普通税	1,059,148	96.4	17,362	
利子割交付金	1,784	0.0	1,784	0.0	市町村民税	546,241	49.7	17,362	
配当割交付金	3,599	0.0	3,599	0.1	個人均等割	16,427	1.5	-	
株式等譲渡所得割交付金	3,008	0.0	3,008	0.1	所得割	429,961	39.1	-	
地方消費税交付金	209,301	2.3	209,301	4.0	法人均等割	35,605	3.2	6,127	
ゴルフ場利用税交付金	1,435	0.0	1,435	0.0	法人税割	64,248	5.8	11,235	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	378,159	34.4	-	
自動車取得税交付金	15,574	0.2	15,574	0.3	うち純固定資産税	372,775	33.9	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	22,105	2.0	-	
地方特例交付金	2,531	0.0	2,531	0.0	市町村たばこ税	112,643	10.3	-	
地方交付税	4,275,945	46.2	3,777,861	72.3	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	3,777,861	40.8	3,777,861	72.3	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	498,078	5.4	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	6	0.0	-	-	目的税	39,619	3.6	-	
（一般財源計）	5,715,159	61.7	5,177,456	99.1	法定目的税	39,619	3.6	-	
交通安全対策特別交付金	920	0.0	920	0.0	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	17,244	0.2	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	389,363	4.2	3,493	0.1	都市計画税	39,619	3.6	-	
手数料	79,812	0.9	14	0.0	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	948,160	10.2	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	12,132	0.1	12,132	0.2	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	430,254	4.6	-	-	合計	1,098,767	100.0	17,362	
財産収入	117,817	1.3	24,000	0.5					
寄附金	20,657	0.2	-	-					
繰入金	590,176	6.4	-	-					
繰越金	233,217	2.5	-	-					
諸収入	66,794	0.7	4,065	0.1					
地方債	639,600	6.9	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	266,800	2.9	-	-					
歳入合計	9,261,305	100.0	5,222,080	100.0					

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等
議会費	96,222	1.1	-	96,222
総務費	1,389,549	15.9	113,316	1,281,991
民生費	1,605,794	18.3	55,414	989,391
衛生費	987,948	11.3	26,487	859,303
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	920,983	10.5	362,877	313,061
商工費	157,909	1.8	23,004	95,206
土木費	1,428,935	16.3	688,639	887,306
消防費	358,202	4.1	55,619	354,581
教育費	689,262	7.9	31,398	653,290
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	1,127,990	12.9	-	1,062,125
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	8,762,794	100.0	1,356,754	6,592,476

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	3,268,357	37.3	2,706,335	2,595,790	47.3
人件費	1,655,535	18.9	1,531,382	1,520,837	27.7
うち職員給	1,102,499	12.6	995,729	-	-
扶助費	484,832	5.5	112,828	112,828	2.1
公債費	1,127,990	12.9	1,062,125	962,125	17.5
元利償還金	1,127,981	12.9	1,062,116	962,116	17.5
うち元金	1,002,536	11.4	936,671	836,671	15.2
うち利子	125,445	1.4	125,445	125,445	2.3
一時借入金利子	9	0.0	9	9	0.0
その他の経費	4,137,683	47.2	3,358,860	1,925,625	35.1
物件費	1,343,969	15.3	837,500	657,070	12.0
維持補修費	210,999	2.4	183,895	159,414	2.9
補助費等	1,175,322	13.4	1,032,726	832,831	15.2
うち一部事務組合負担金	301,357	3.4	299,657	293,347	5.3
繰出金	769,856	8.8	687,054	276,310	5.0
積立金	637,737	7.3	617,685	-	-
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,356,754	15.5	527,281	-	-
うち人件費	26,434	0.3	16,713	-	-
普通建設事業費	1,356,754	15.5	527,281	-	-
うち補助	783,616	8.9	75,488	-	-
うち単独	534,551	6.1	451,650	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	8,762,794	100.0	6,592,476	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	9,261	8,763	499	488	590	10,064	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	9,261	8,763	499	488		10,064	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	1,747	1,747	-	-	178	-	-	-	
2	介護保険特別会計	1,003	979	24	24	181	-	-	-	
3	後期高齢者医療特別会計	127	126	1	1	45	-	-	-	
4	介護老人保健施設事業特別会計	94	77	17	17	-	-	-	-	
5	水道事業会計	262	260	1	211	-	1,412	-	-	法適用企業
6	病院事業会計	1,214	1,172	42	21	478	1,288	992	-	法適用企業
7	簡易水道事業特別会計	73	67	6	6	-	46	-	-	法非適用企業
8	下水道事業特別会計	940	940	-	-	377	3,903	3,208	-	法非適用企業
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				281		6,649	4,200		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	釧路東部消防組合	1,267	1,254	13	13	-	1,071	168	
2	釧路公立大学事務組合	1,397	1,207	190	190	-	-	-	
3	釧路・根室広域地方税滞納整理機構	36	32	4	4	6	-	-	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				207		1,071	168	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	厚岸味覚ターミナル	15	79	35	-	-	-	-	-	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			35	-	-	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）																															
区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比	内訳				平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比																			
元利償還金	1,104,638	1,090,762	1,027,981	23.1	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	10,626,315	10,427,095	10,064,159	226.5	PFI事業に係るもの				-	-	-	-																		
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	314,494	270,763	227,124	5.1	いわゆる五省協定等に係るもの				-	-	-	-																		
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	4,354,494	4,283,324	4,200,337	94.5	国営土地改良事業に係るもの				-	-	-	-																		
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	419,087	425,270	441,609	9.9		組合等負担等見込額	67,627	68,712	167,797	3.8	森林総合研究所等が行う事業に係るもの				-	-	-	-																		
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	549	595	598	0.0		退職手当負担見込額	1,333,047	1,175,033	1,053,694	23.7	地方公務員等共済組合に係るもの				166,849	133,339	119,753	2.7																		
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	49,076	42,794	39,262	0.9		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	依頼土地の買い戻しに係るもの				-	-	-	-																		
一時借入金の利子	35	49	9	0.0		連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの				75,267	66,601	37,933	0.9																		
合計	(A)	1,573,385	1,559,470	1,509,459		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの				-	-	-	-																		
内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比		合計	(E)	16,695,977	16,224,927	15,713,111	企業債等繰入見込額	引き受けた債務の履行に係るもの				-	-	-	-																	
PFI事業に係るもの	-	-	-	-		充当可能基金	1,594,300	1,579,017	1,884,427	42.4		その他上記に準ずるもの				72,378	70,823	69,438	1.6																	
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能特定歳入	1,942,008	1,874,848	1,704,079	38.3	下水道事業特別会計		3,163,948	3,197,186	3,208,209	72.2																					
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額	8,852,521	9,092,287	8,964,652	201.7			病院事業会計	1,180,793	1,078,805	992,128	22.3																				
地方公務員等共済組合に係るもの	16,815	16,624	16,610	0.4	合計	(F)	12,388,829	12,546,152	12,553,158				介護保険特別会計	-	-	-	-																			
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	11,617	8,666	8,547	0.2	将来負担比率（(E)-(F)）／（（(C)-(D)）×100	95.8	84.8	71.1	介護老人保健施設事業特別会計					-	-	-	-																			
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	<table><tr><td>健全化判断比率</td><td>平成27年度</td><td>早期健全化基準</td><td>財政再生基準</td></tr><tr><td>実質赤字比率</td><td>-</td><td>14.78</td><td>20.00</td></tr><tr><td>連結実質赤字比率</td><td>-</td><td>19.78</td><td>30.00</td></tr><tr><td>実質公債費比率</td><td>12.6</td><td>25.0</td><td>35.0</td></tr><tr><td>将来負担比率</td><td>71.1</td><td>350.0</td><td></td></tr></table>	健全化判断比率	平成27年度	早期健全化基準						財政再生基準	実質赤字比率	-	14.78	20.00	連結実質赤字比率	-	19.78	30.00	実質公債費比率	12.6	25.0	35.0	将来負担比率	71.1	350.0		その他の会計				9,753	7,333
健全化判断比率	平成27年度	早期健全化基準	財政再生基準																																	
実質赤字比率	-	14.78	20.00																																	
連結実質赤字比率	-	19.78	30.00																																	
実質公債費比率	12.6	25.0	35.0																																	
将来負担比率	71.1	350.0																																		
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-		公社・三セク等	地方道路公社に係る将来負担額				-	-	-	-																						
その他上記に準ずるもの	11,942	10,565	9,367	0.2			土地開発公社に係る将来負担額				-	-	-	-																						
利子補給に係るもの	8,702	6,939	4,738	0.1			その他第三セクター等に係る将来負担額				-	-	-	-																						
特定財源の額	(B)	98,502	90,403	100,303																																
標準財政規模	(C)	5,348,704	5,240,921	5,356,941																																
算入公債費等の額	(D)	856,967	902,984	912,824																																
	(C)-(D)	4,491,737	4,337,937	4,444,117																																
実質公債費比率（単年度）		13.8	13.0	11.2																																
（(A)-(B)+(D)）／（（(C)-(D)）×100（3ヵ年平均）		13.8	13.4	12.6																																

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成27年度

北海道厚岸町

人	9,978	人(H28.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%	
うち日本人	9,886	人(H28.1.1現在)	連	結	実	赤	字	比	-	%	
面積	739.26	km ²	実	質	公	債	費	比	12.6	%	
歳入総額	9,261,305	千円	将	来	負	担	率	率	71.1	%	
歳出総額	8,762,794	千円	市	町	村	類	型	H23	Ⅲ－〇	H24	Ⅲ－〇
実質収支	487,777	千円	(	年	度	毎	)	H26	Ⅲ－〇	H27	Ⅱ－〇
標準財政規模	5,356,941	千円									
地方債現在高	10,064,159	千円									



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

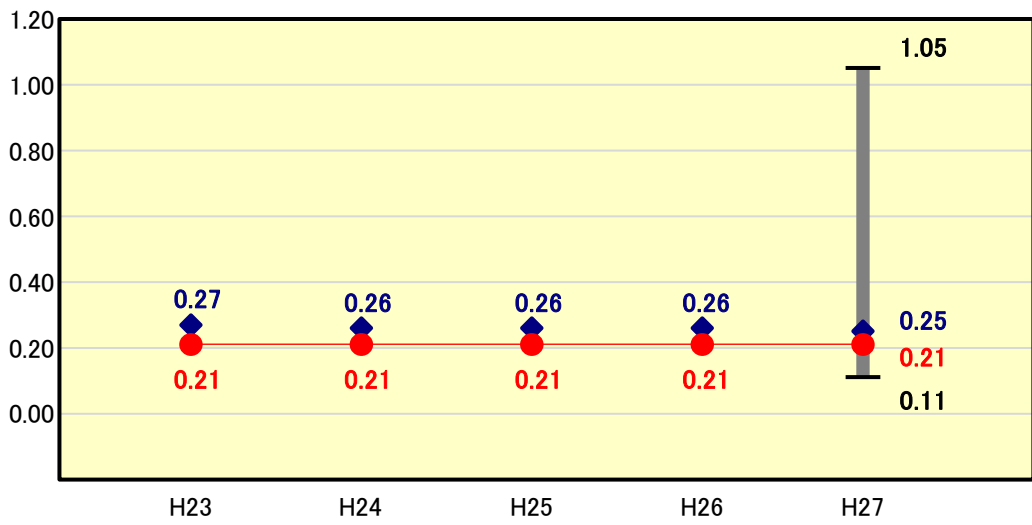
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

財政力指数 [0.21]



類似団体内順位 57/107 全国平均 0.50 北海道平均 0.25

財政力指数の分析欄

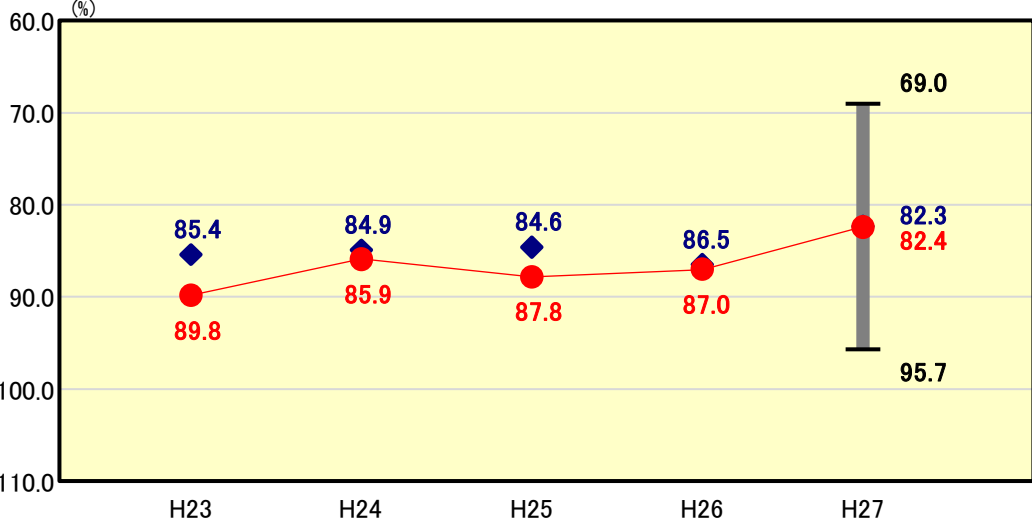
基準財政収入額は、固定資産税において評価替え等による減があったが、漁業及び水産加工業における法人町民税の増や地方消費税交付金等の交付額増により、前年度比6.1%の増となった。

一方、基準財政需要額は、単位費用が減となった影響があったものの、人口減少等特別対策事業費の新設等による増があり、前年度比2.7%の増となった。

その結果、財政力指数は0.21ポイントと前年度から増減は無く、依然として類似団体平均値を下回っている。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [82.4%]



類似団体内順位 58/107 全国平均 90.0 北海道平均 87.9

経常収支比率の分析欄

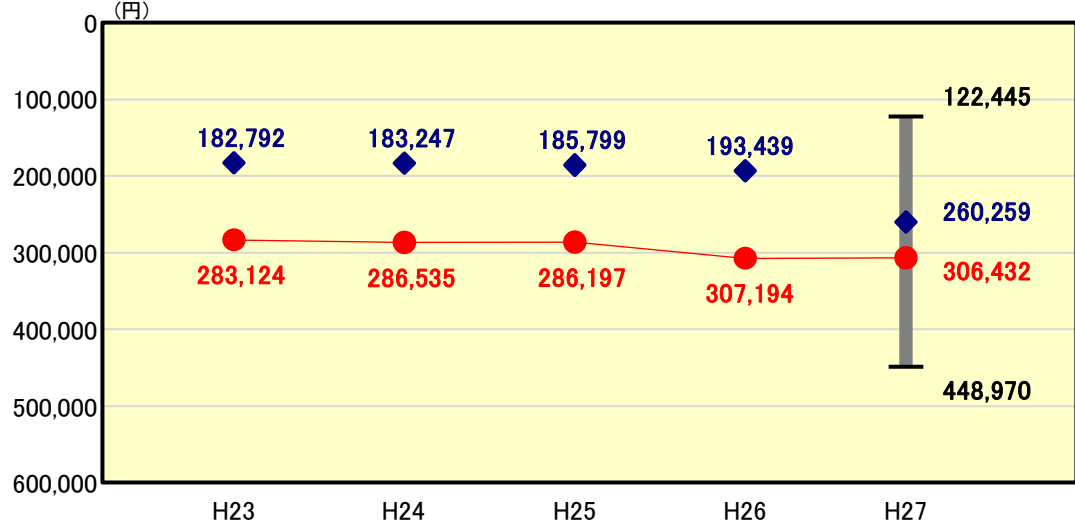
地方債の償還完了等による元利償還金の減や人件費の減などにより経常経費充当一般財源が前年度比2.6%の減となった。

また、臨時財政対策債は減となったものの、普通交付税や地方税などの経常一般財源の増により前年度比3.3%の増となった。

その結果、経常収支比率は前年度比で4.6ポイント下がり、ほぼ類似団体平均値と同水準となっている。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [306,432円]



類似団体内順位 81/107 全国平均 121,920 北海道平均 148,234

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

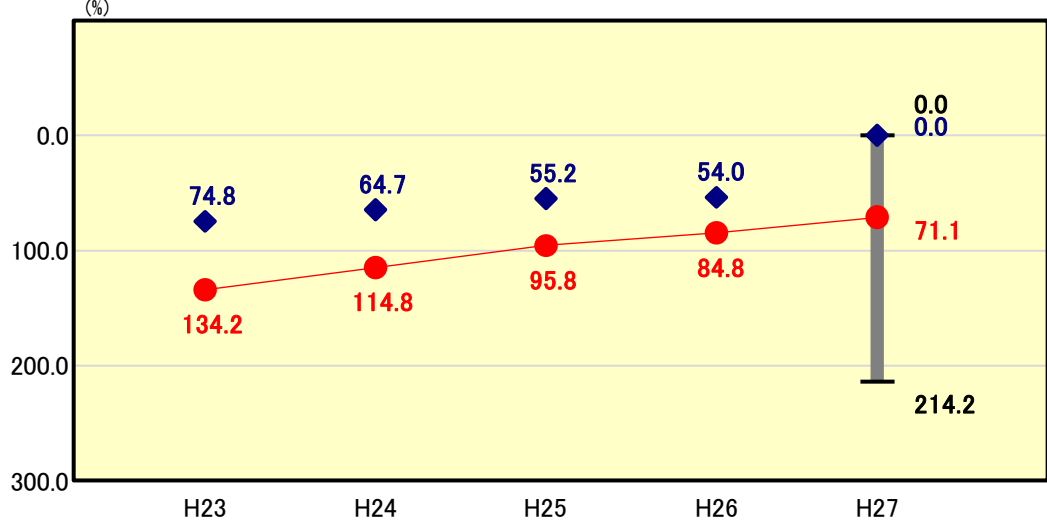
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。

これは保育所等の外部施設が多いためであり、人件費は前年度から大きな増減は無い。

しかし、物件費と維持管理費は前年度比4.1%減となったことで、人口1人当たり人件費・物件費等は前年度比で762円の減となったが、依然として類似団体平均を上回っているため、引き続き定員管理計画によるコスト削減を図る。

将来負担の状況

将来負担比率 [71.1%]



類似団体内順位 95/107 全国平均 38.9 北海道平均 53.7

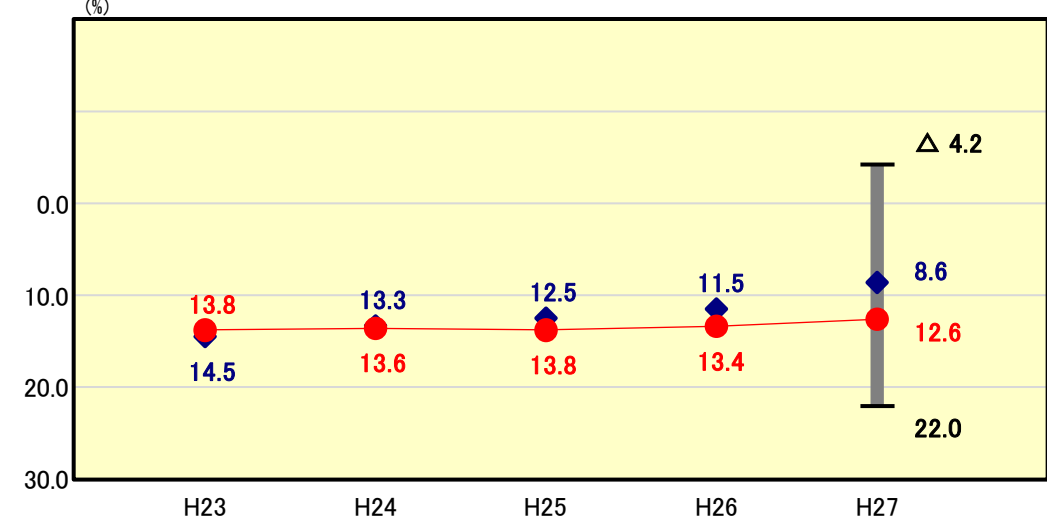
将来負担比率の分析欄

平成23年度に134.2であった指数は平成27年度までに47.0%減の71.1となり、確実に改善が図られているが、類似団体平均には及ばない状況である。

今後も、次世代の償還負担が多くならないよう、交付税算入率の低い起債の発行抑制をはじめ、新規発行額を元金償還額以下とすることを原則として、引き続き地方債残高の減額に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [12.6%]



類似団体内順位 97/107 全国平均 7.4 北海道平均 8.4

実質公債費比率の分析欄

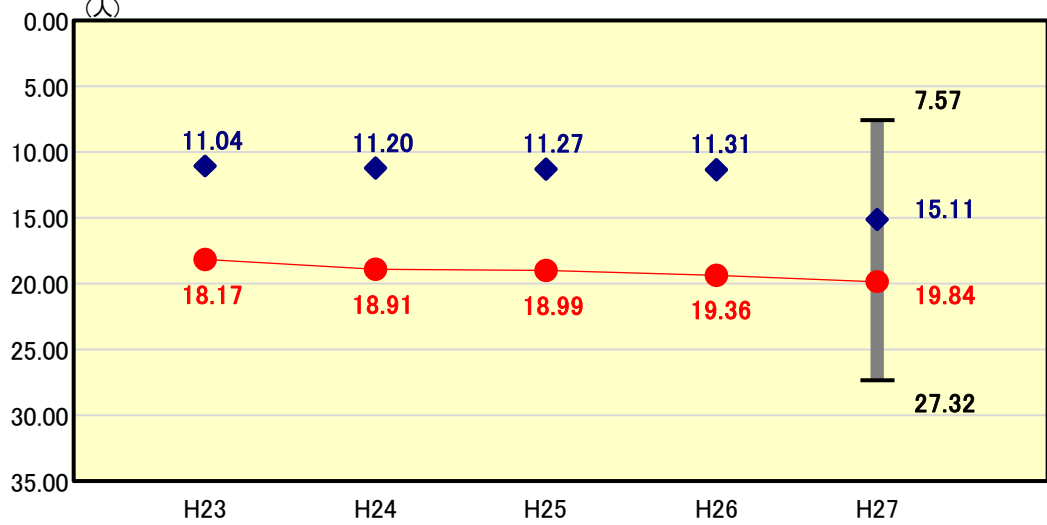
平成14年度から実施している厚岸町財政運営基本方針により投資事業を抑制してきたことから、元利償還金の増加が抑えられ、平成16年度をピークに減少し、類似団体平均をやや下回って推移してきたが、平成24年度からは大型公共施設の整備事業により類似団体平均を上回っている。

なお、真龍小学校改築事業など一部の大型事業が前年度で償還完了したことにより、実質公債費比率は前年度比0.8ポイントの減となっている。

今後も大型投資事業の適切な取捨選択等により新規発行額の抑制に

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [19.84人]



類似団体内順位 91/107 全国平均 6.96 北海道平均 8.25

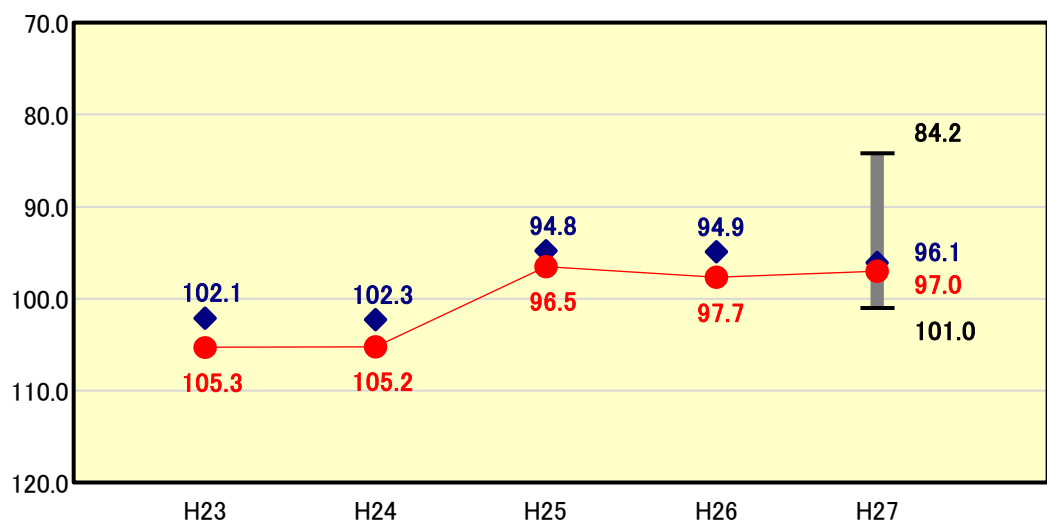
人口千人当たり職員数の分析欄

平成16年4月1日から平成21年4月1日までに実施した第3次定員適正化計画では1割以上の削減(44名)を目標に取組みを進めた結果、計画を上回る52名の削減を達成したところである。

しかし、保育所等の外部施設が多いため、依然として類似団体平均を上回っている。

給与水準（国との比較）

ラスパイレス指数 [97.0]



類似団体内順位 62/107 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄

今年度の指数は前年度から0.7ポイント減の97.0となったが、類似団体平均と比較すると、0.9ポイント上回っている。

前年度からの変動は、人事院勧告による給与改定等が要因となっている。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

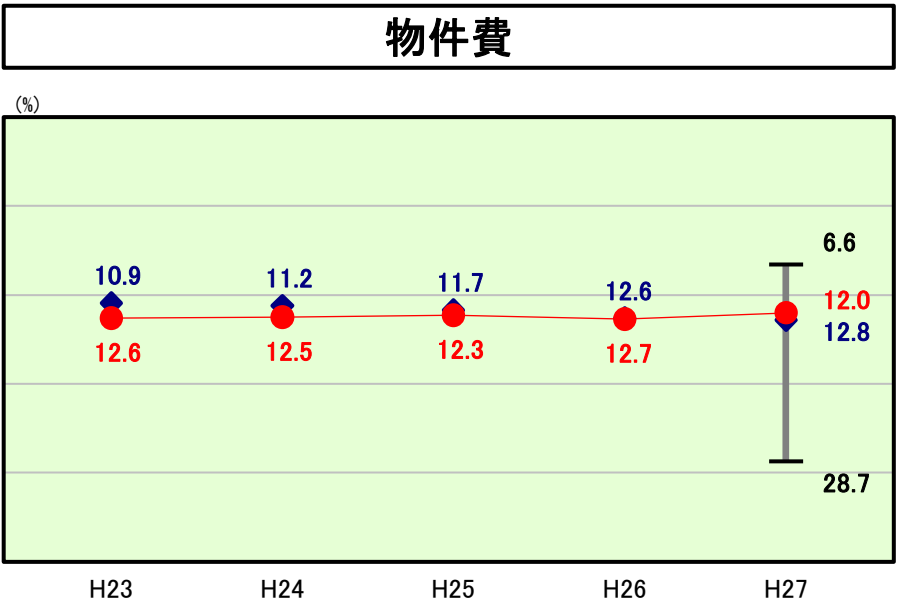
経常収支比率の分析

人口	9,978	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	9,886	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	739.26	km ²	実質公債費比率	12.6	%
歳入総額	9,261,305	千円	将来負担比率	71.1	%
歳出総額	8,762,794	千円	市町村類型	H23Ⅲ-O H24Ⅲ-O H25Ⅲ-O	
実質収支	487,777	千円	(年度毎)	H26Ⅲ-O H27Ⅱ-O	
標準財政規模	5,356,941	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に搭載されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

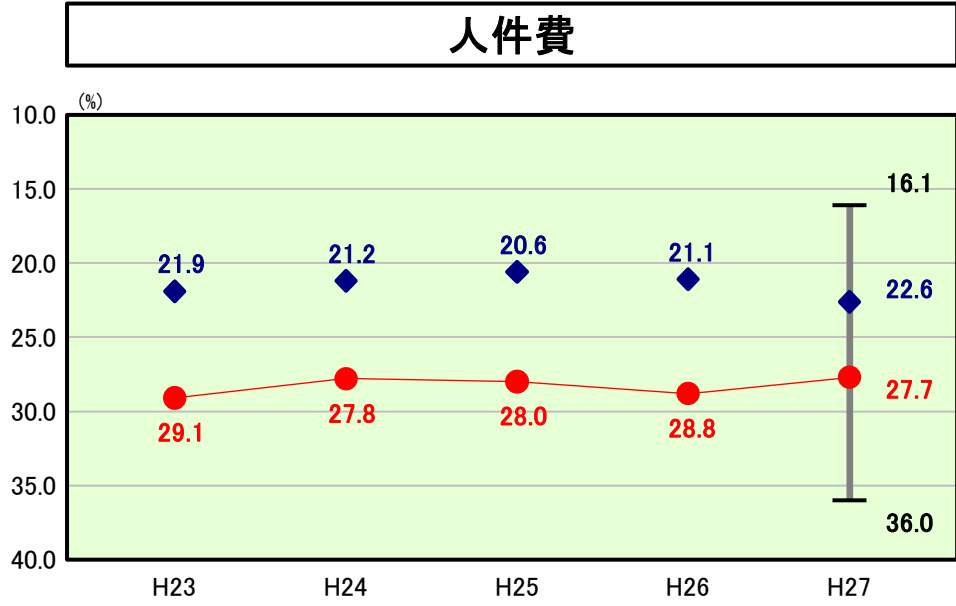


類似団体内順位 45/107 全国平均 14.3 北海道平均 12.9

物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率については、これまで類似団体平均を上回っていたが、今年度は類似団体平均を0.8ポイント下回っている。

今後も、引き続き日常業務において環境負荷軽減を前提とした一層の行政運営コスト削減に取り組む。



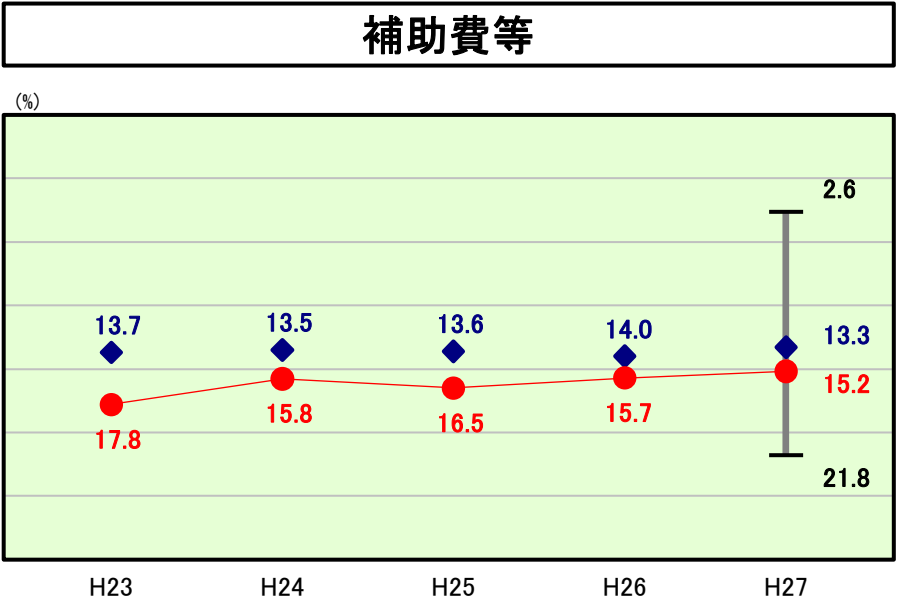
類似団体内順位 95/107 全国平均 23.3 北海道平均 21.0

人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は27.7%となっており、類似団体平均と比較して依然として高い水準にある。

これは、民生部門(保育所、児童館)、農林水産部門(町営牧場、きのこ菌床センター、カキ種苗センター)、教育部門(海事記念館、情報館、温水プール)において外部施設が多いことが要因となっている。

今後も、人口減少に対応した定員管理を進める。

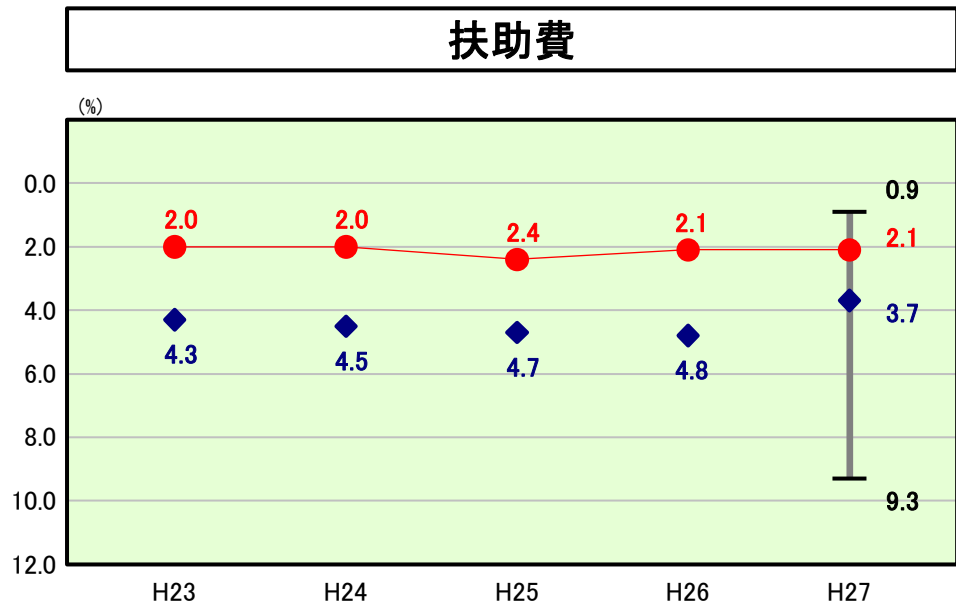


類似団体内順位 76/107 全国平均 10.0 北海道平均 11.7

補助費等の分析欄

補助費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、釧路東部消防組合への負担金や社会福祉協議会への補助金があるほか、病院事業会計への補助金が多額となっているためである。

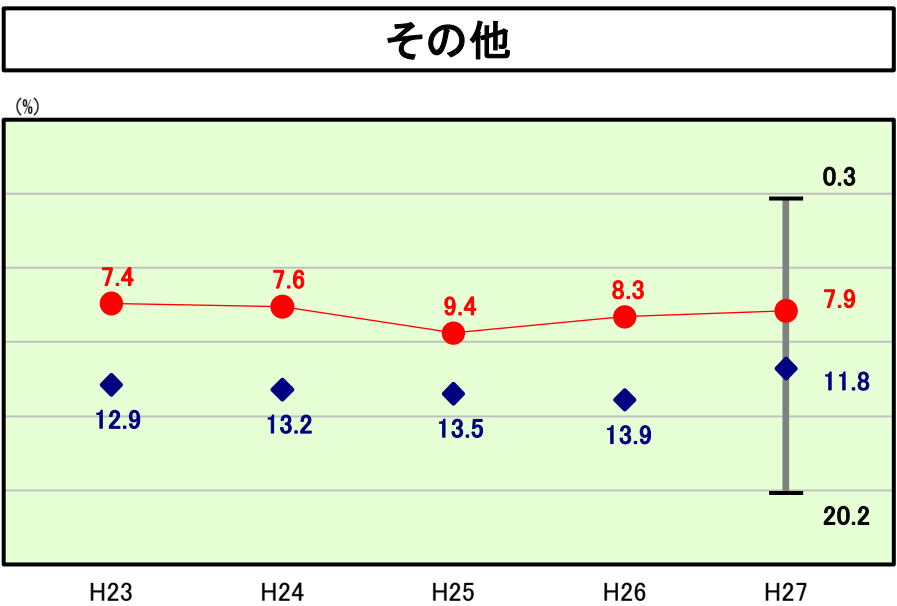
今後は、病院事業会計の経営効率化を図るための収益確保と、効率的な費用削減を継続実施し、一般会計からの繰出金の抑制を図る。



類似団体内順位 11/107 全国平均 11.8 北海道平均 10.5

扶助費の分析欄

国の補助事業である社会保障関連の扶助費のほか、単独事業の扶助費についても増加しているが、扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っている。

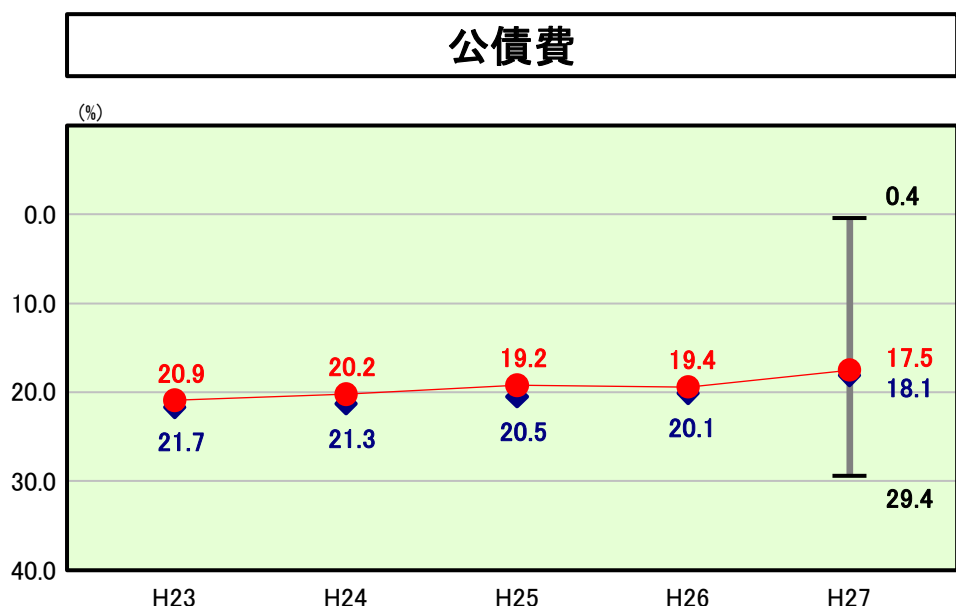


類似団体内順位 10/107 全国平均 13.2 北海道平均 13.5

その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、類似団体平均と比較して低い水準である。

しかし、他会計繰出金は簡易水道事業特別会計及び介護老人保健施設事業特別会計を除く全ての特別会計が一般会計の繰出金によって収支を保っており、繰出金の増加は一般会計の収支悪化に直結するため、特別会計においても基本財源の確保に努めることにより一般会計の繰出金の抑制を図る。

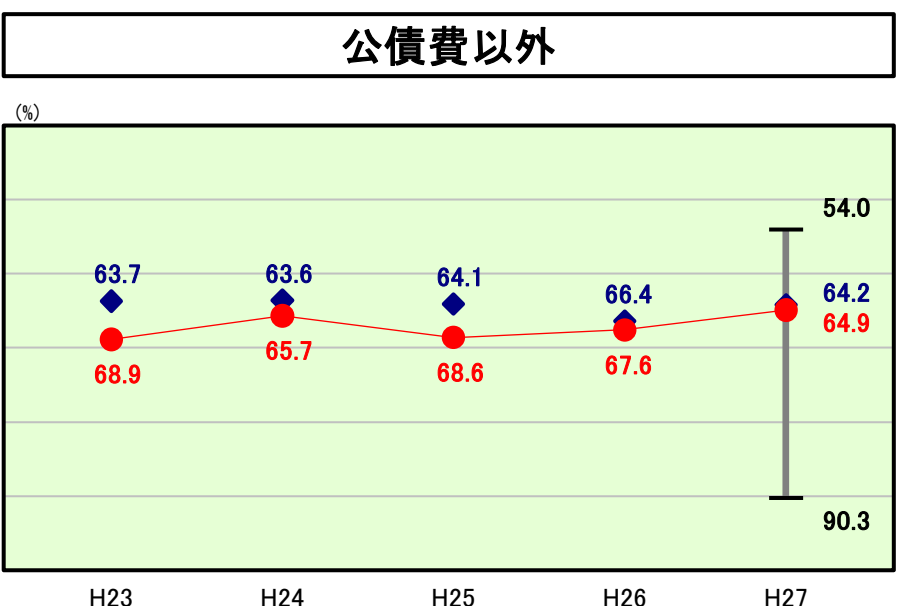


類似団体内順位 63/107 全国平均 17.4 北海道平均 18.3

公債費の分析欄

公債費に係る経常収支比率は、過去の大型建設事業に伴う償還金が減少していることや、厚岸町財政運営基本方針に基づいた投資事業の抑制により、類似団体平均をやや下回っている。

今後は、大型投資事業の適切な取捨選択等による町債発行の抑制に努める。



類似団体内順位 58/107 全国平均 72.6 北海道平均 69.6

公債費以外の分析欄

普通建設事業に係る充当一般財源等の割合は、類似団体平均を上回っている。

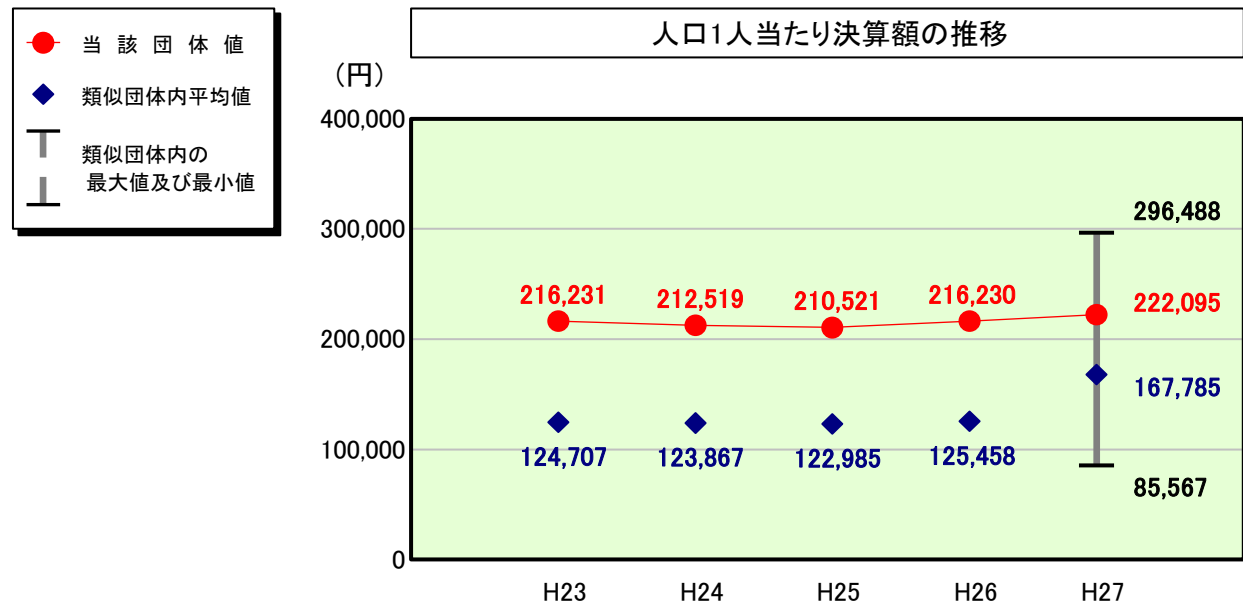
今後も引き続き、効率的かつ重点的な社会資本整備の推進に努め、継続実施の投資事業の縮減、維持補修費を除く新規単独事業の取捨選択の徹底とともに、町債発行の抑制を図る。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

北海道厚岸町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

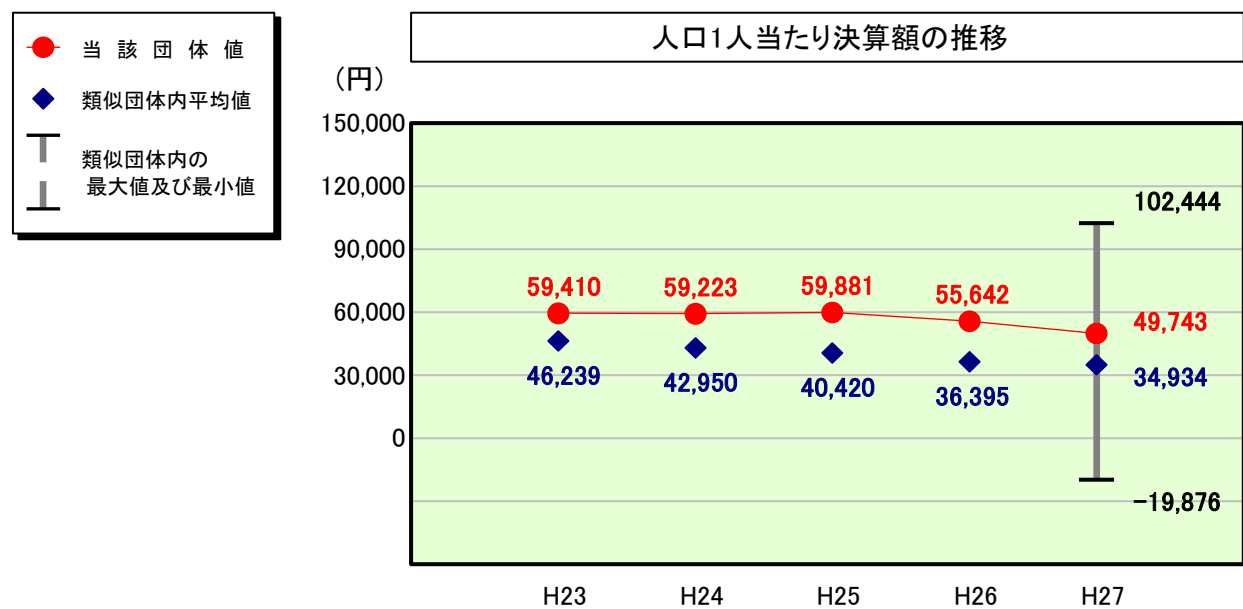
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,655,535	165,919	133,600	24.2
賃金 (物件費)	198,558	19,900	14,806	34.4
一部事務組合負担金 (補助費等)	234,093	23,461	22,006	6.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	194,137	19,457	3,064	535.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	86,470	8,666	5,782	49.9
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	26,434	2,649	3,053	▲ 13.2
▲退職金	▲ 179,163	▲ 17,956	▲ 14,525	23.6
合計	2,216,064	222,095	167,785	32.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	19.84	15.11	4.73
ラスパイレス指数	97.0	96.1	0.9

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

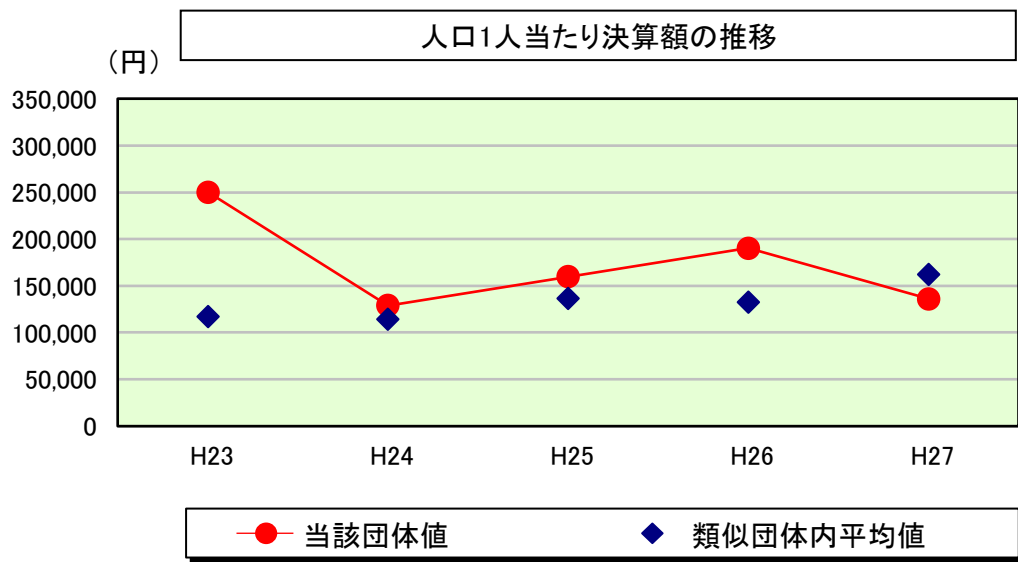


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,027,981	103,025	102,348	0.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	242	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	441,609	44,258	23,122	91.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	598	60	5,214	▲ 98.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	39,262	3,935	1,563	151.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	9	1	19	▲ 94.7
▲特定財源の額	▲ 100,303	▲ 10,052	▲ 4,672	115.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 912,824	▲ 91,484	▲ 92,903	▲ 1.5
合計	496,332	49,743	34,934	42.4

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

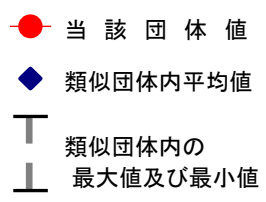
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H23	2,628,267	250,073	▲ 28.8	117,242	▲ 20.7	▲ 8.1
うち単独分	787,346	74,914	3.4	59,388	▲ 6.1	9.5
H24	1,336,928	128,997	▲ 48.4	114,097	▲ 2.7	▲ 45.7
うち単独分	640,925	61,841	▲ 17.5	61,630	3.8	▲ 21.3
H25	1,646,695	159,579	23.7	136,577	19.7	4.0
うち単独分	553,160	53,606	▲ 13.3	59,645	▲ 3.2	▲ 10.1
H26	1,934,955	190,205	19.2	132,212	▲ 3.2	22.4
うち単独分	603,813	59,354	10.7	67,114	12.5	▲ 1.8
H27	1,356,754	135,975	▲ 28.5	162,193	22.7	▲ 51.2
うち単独分	534,551	53,573	▲ 9.7	79,985	19.2	▲ 28.9
過去5年間平均	1,780,720	172,966	▲ 12.6	132,464	3.2	▲ 15.8
うち単独分	623,959	60,658	▲ 5.3	65,552	5.2	▲ 10.5

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成27年度

北海道厚岸町

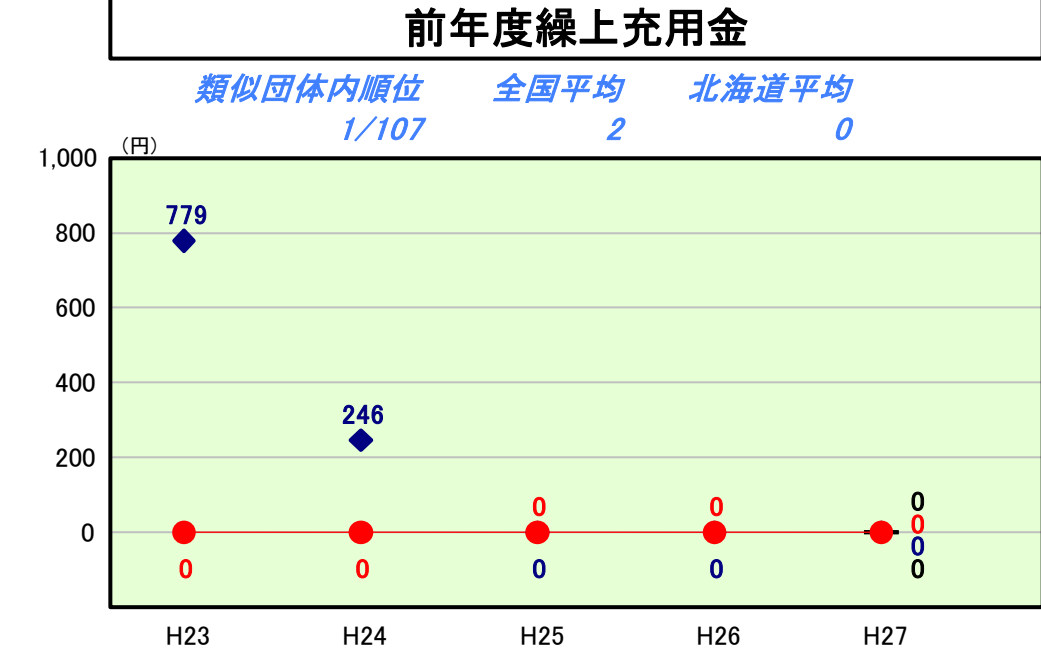
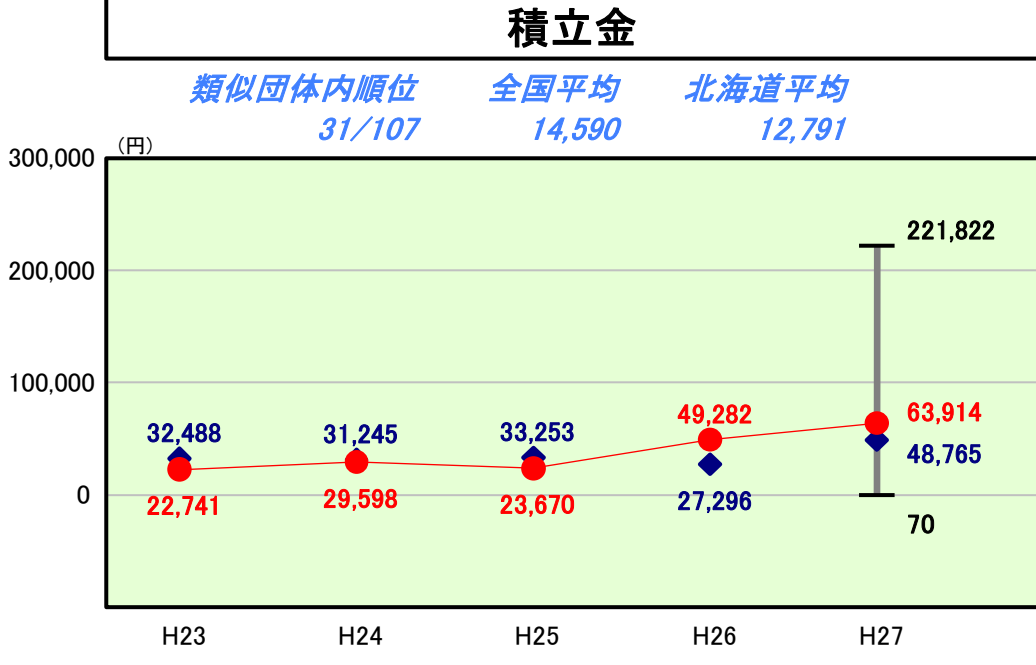
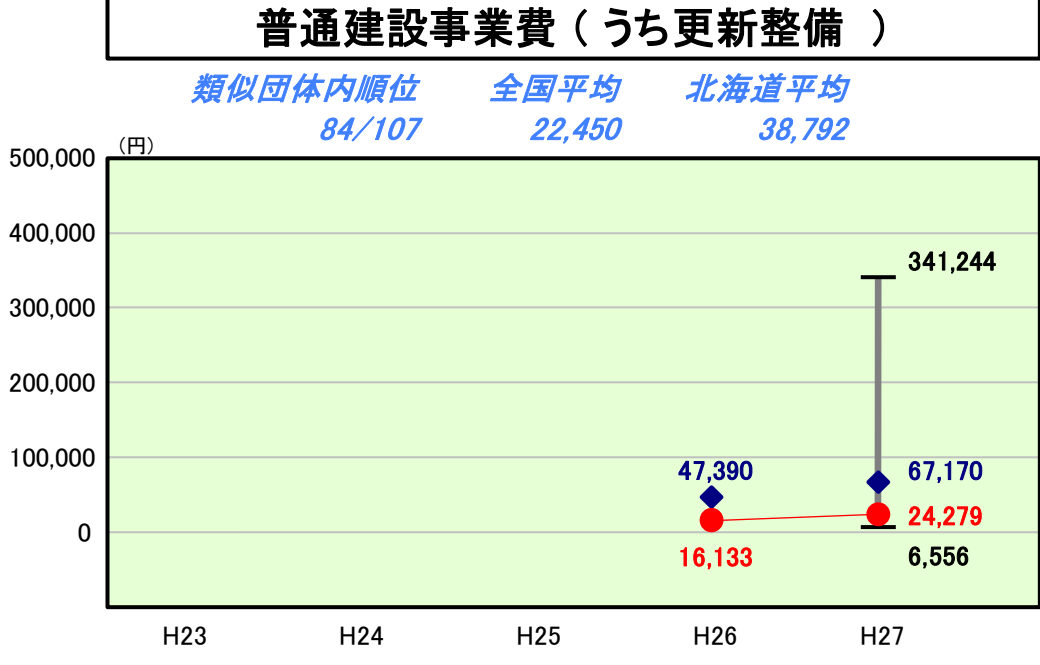
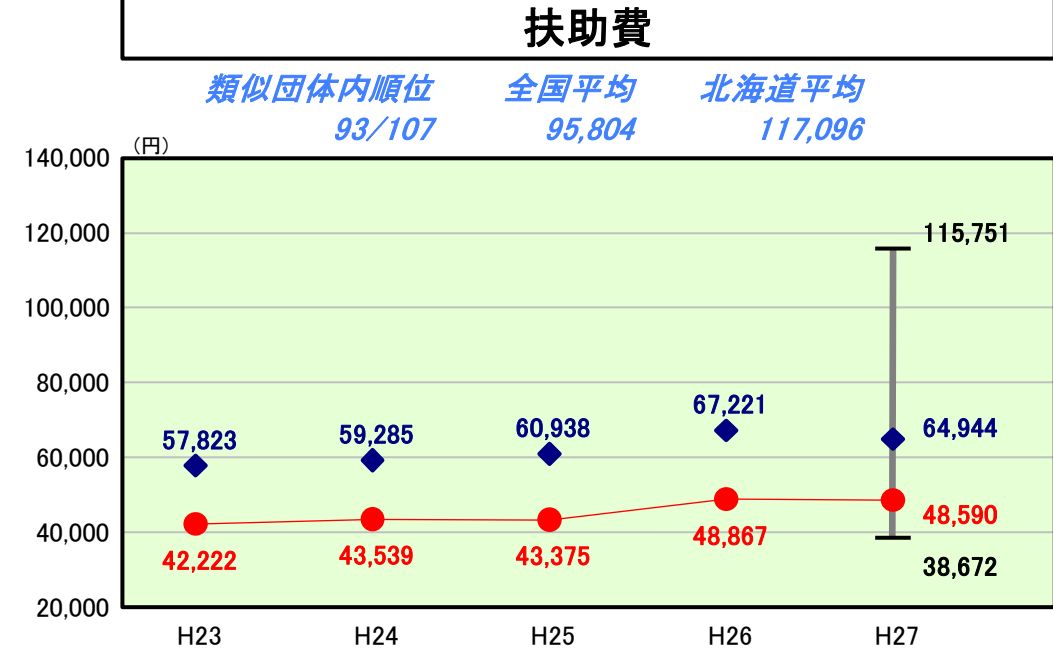
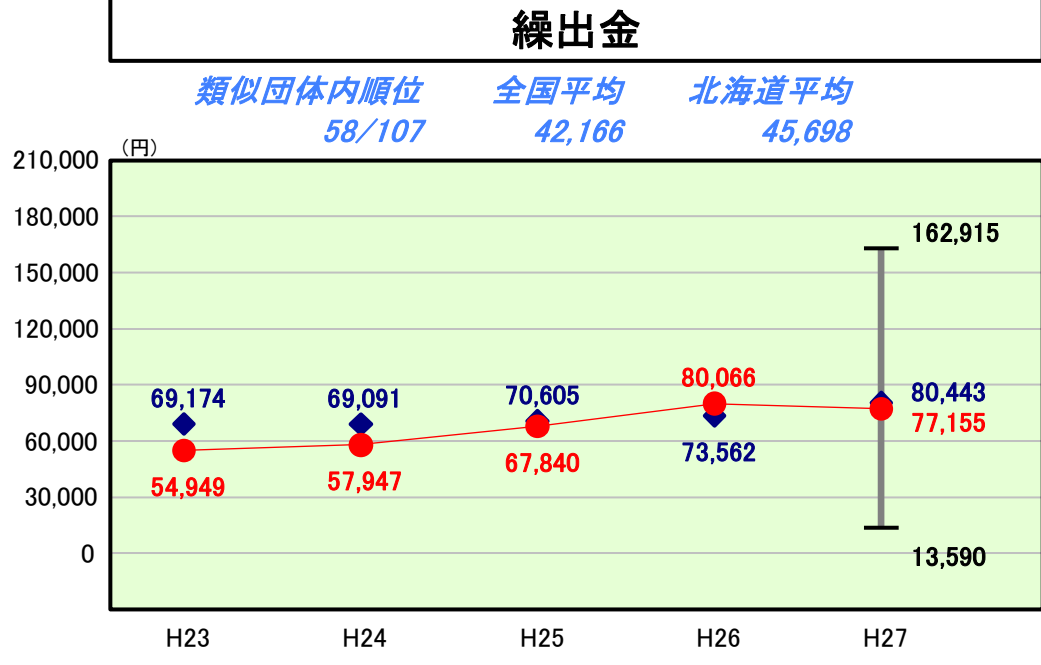
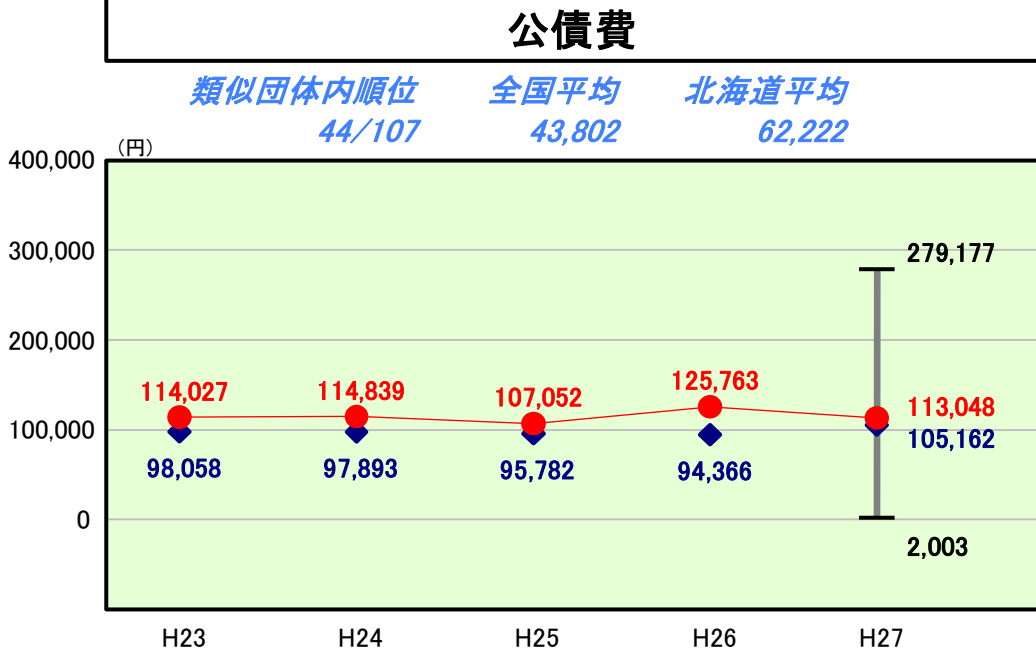
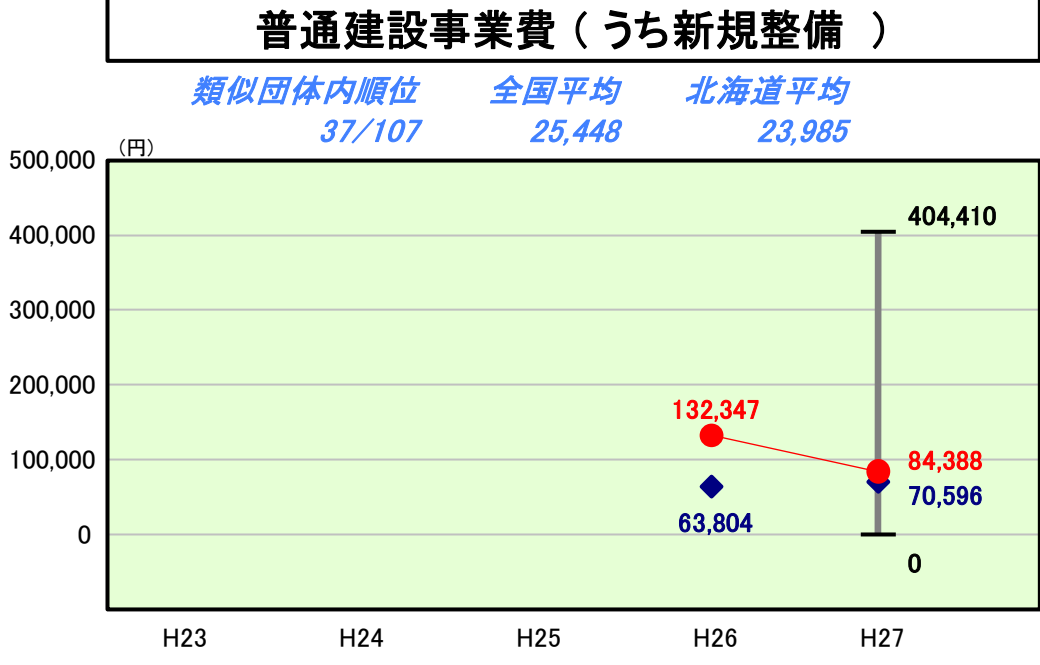
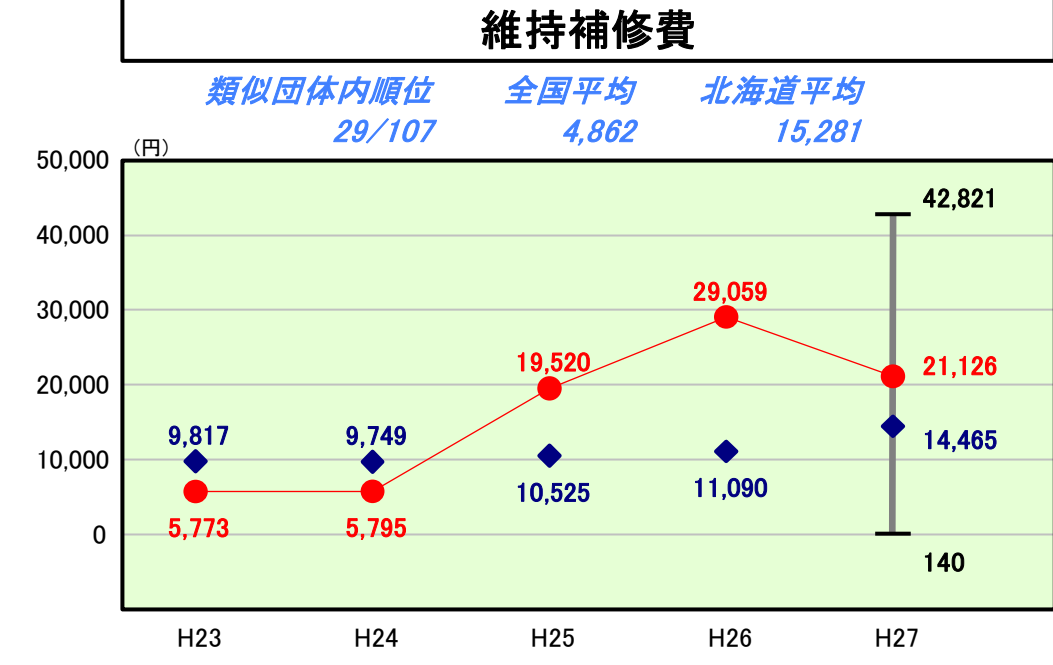
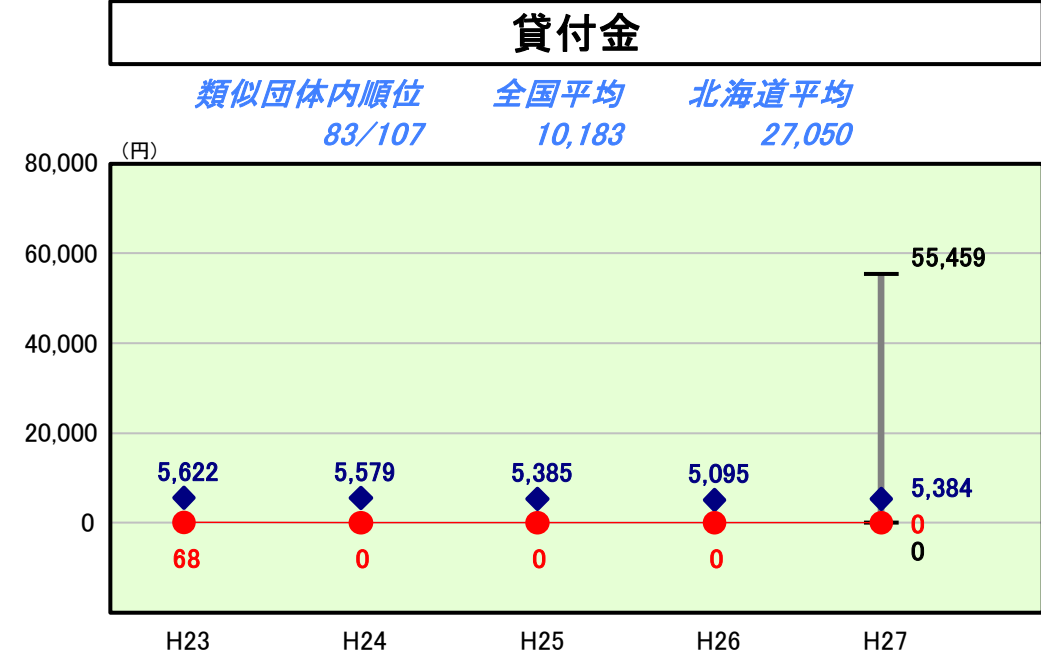
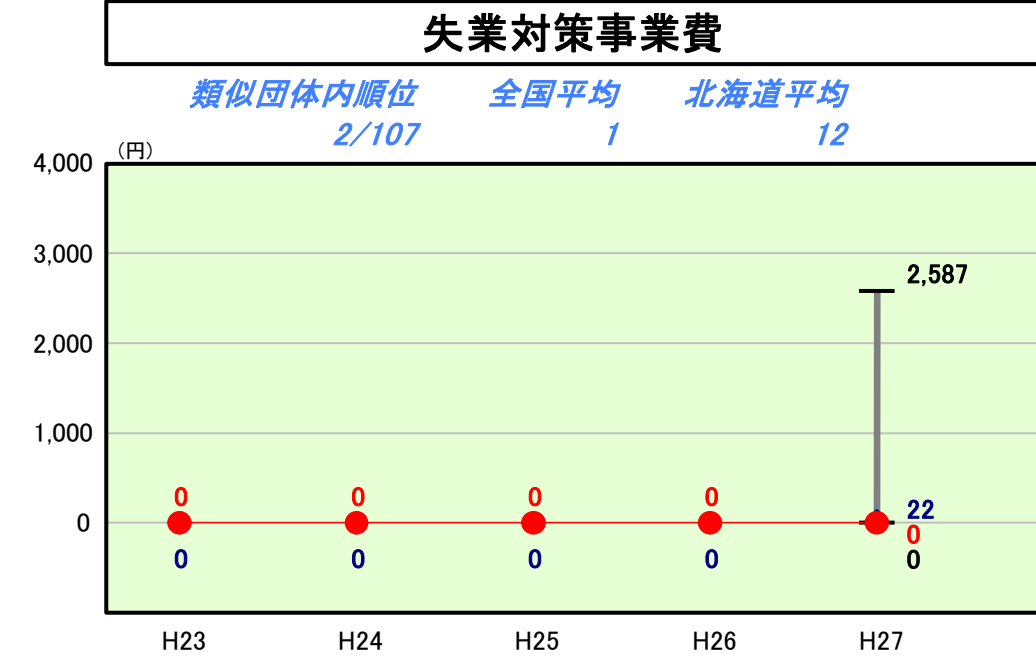
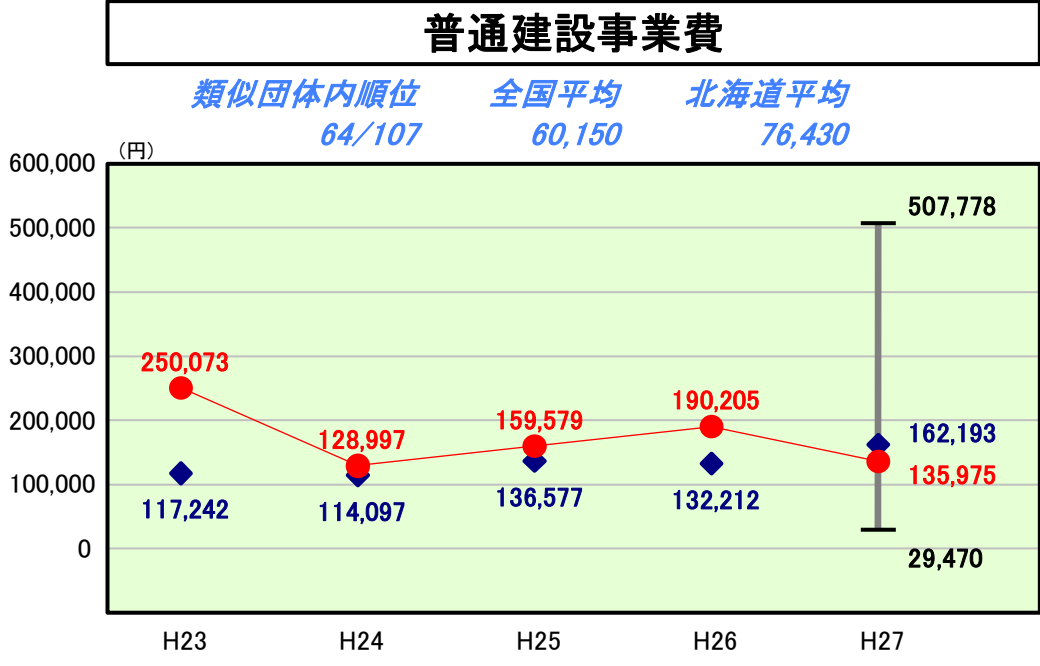
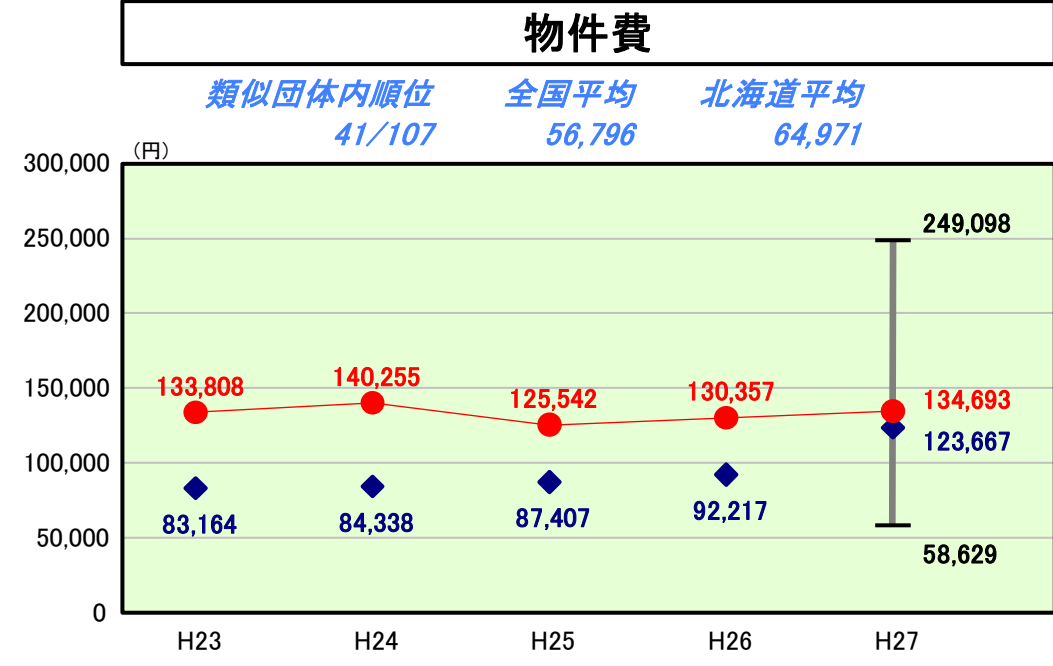
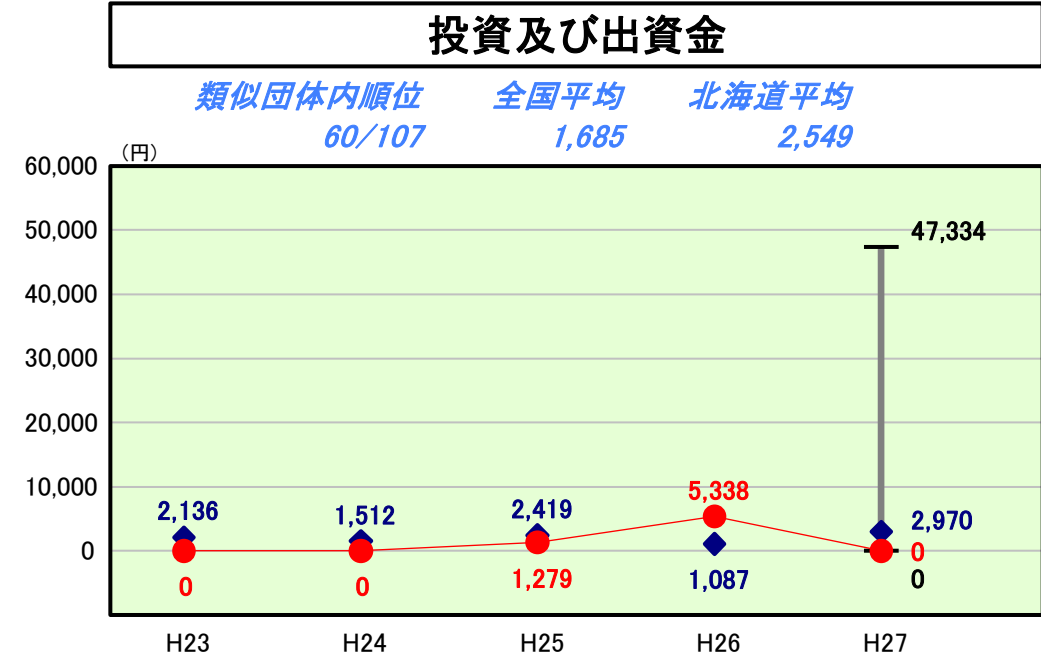
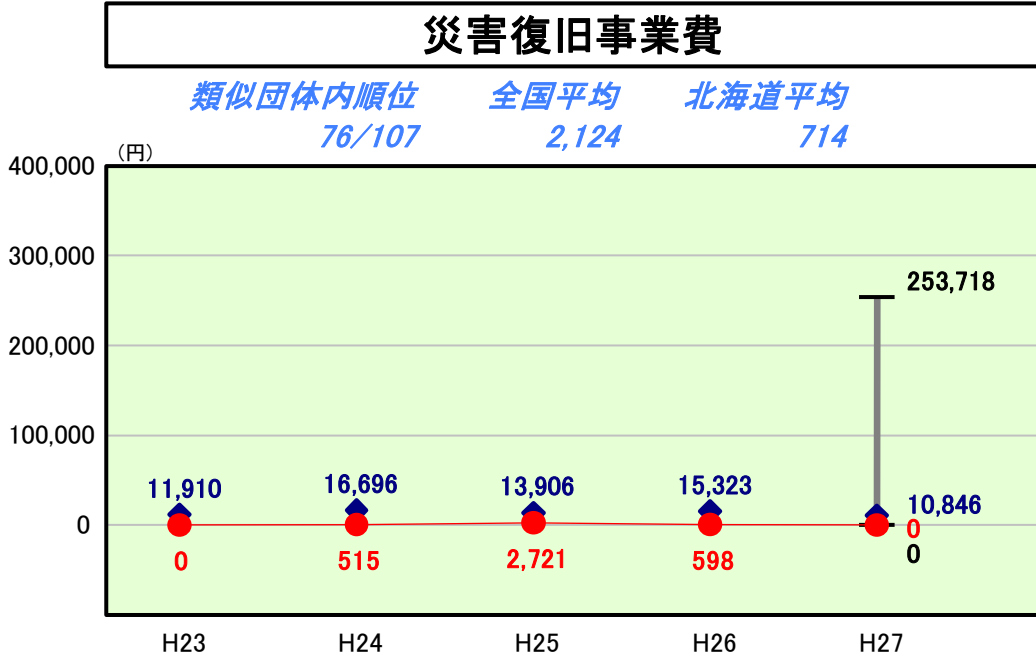
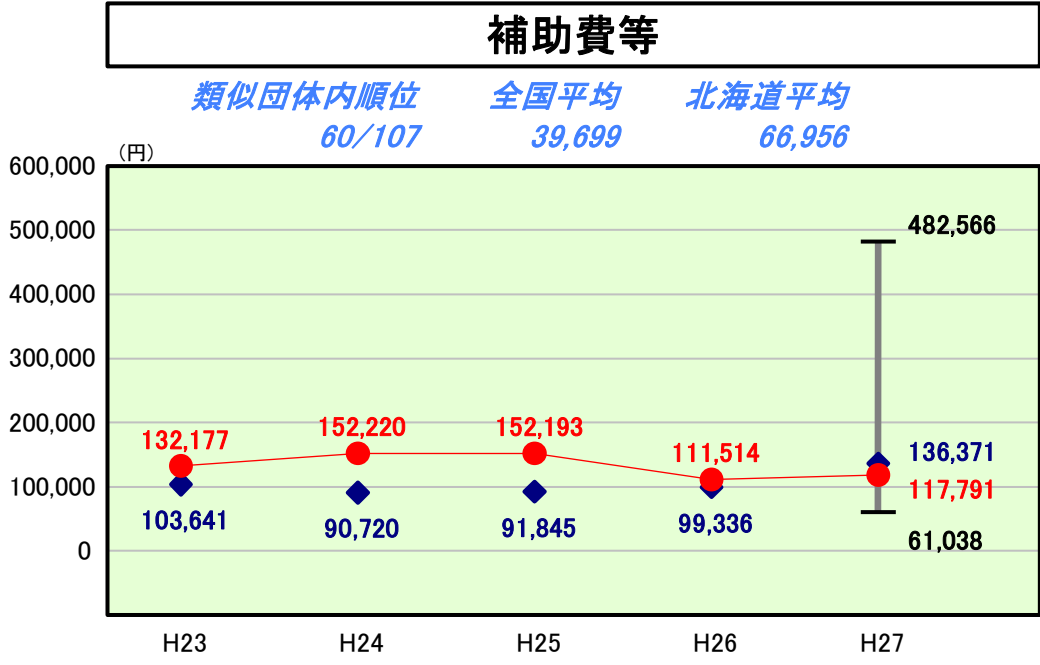
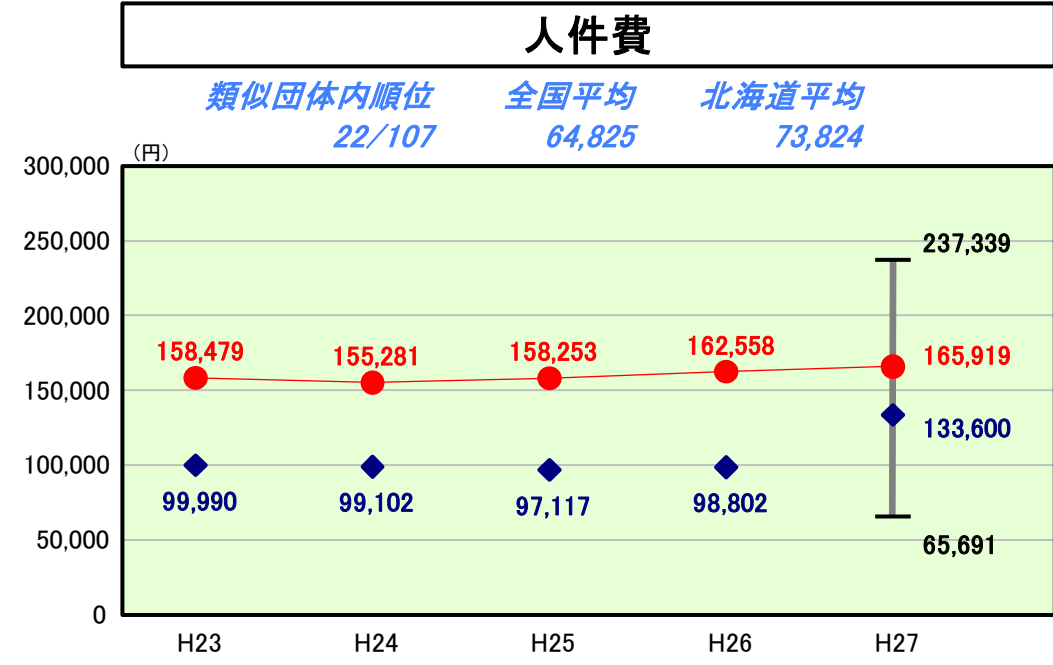
人	9,978	人(H28.1.1現在)			
うち日本	9,886	人(H28.1.1現在)			
面積	739.26	km ²			
歳入総額	9,261,305	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	8,762,794	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支	487,777	千円	実質公債費比率	12.6	%
標準財政規模	5,356,941	千円	将来負担比率	71.1	%
地方債現在高	10,064,159	千円	市町村類型	H23Ⅲ－〇	H24Ⅲ－〇
			(年度毎)	H26Ⅲ－〇	H27Ⅱ－〇



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

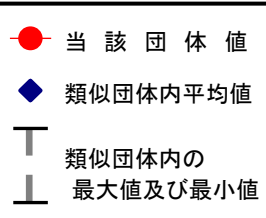
- 歳出決算総額は、住民一人当たり878千円となっている。
- 主な構成項目である人件費は、住民一人当たり166千円となっており、平成23年度から比較すると4.7%増加しており、類似団体平均と比べて高い水準にある。これは、民生部門(保育所、児童館)、農林水産部門(町営牧場、きのこ菌床センター、カキ種苗センター)、教育部門(海事記念館、情報館、温水プール)において外部施設が多いことが要因となっている。
- 維持補修費は、除排雪経費が前年度よりも減少したこと等の要因により、住民一人当たりのコストは前年度比27.3%減の21千円となっているが、依然として類似団体平均を上回っている。今後も適切な除排雪経費の財源確保に努めるとともに、公共施設等総合管理計画に基づき公共施設等の計画的な維持管理を図る。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成27年度

北海道厚岸町

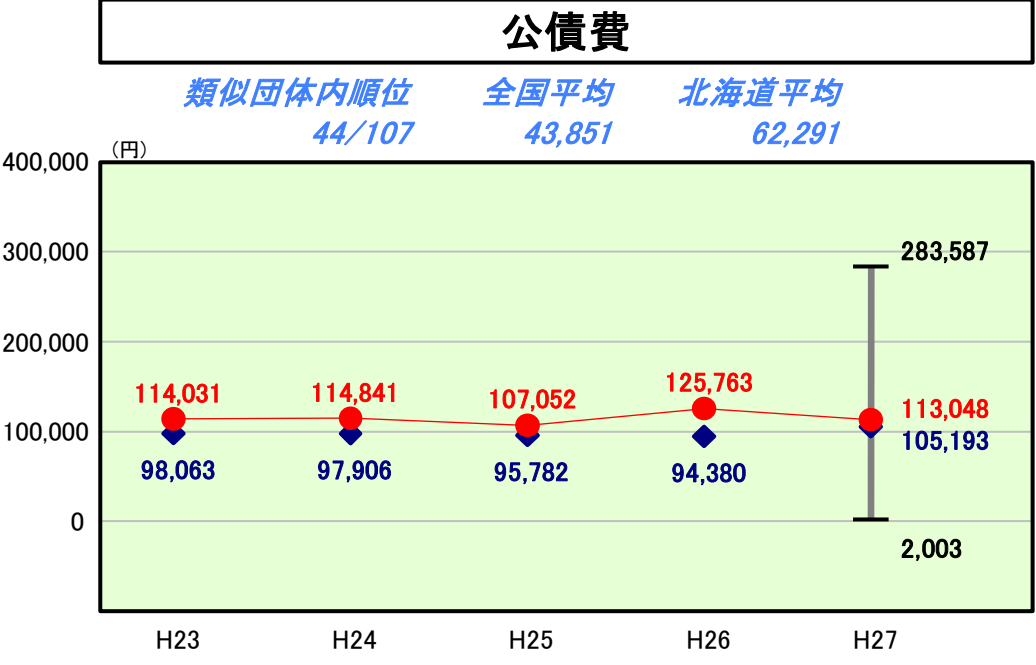
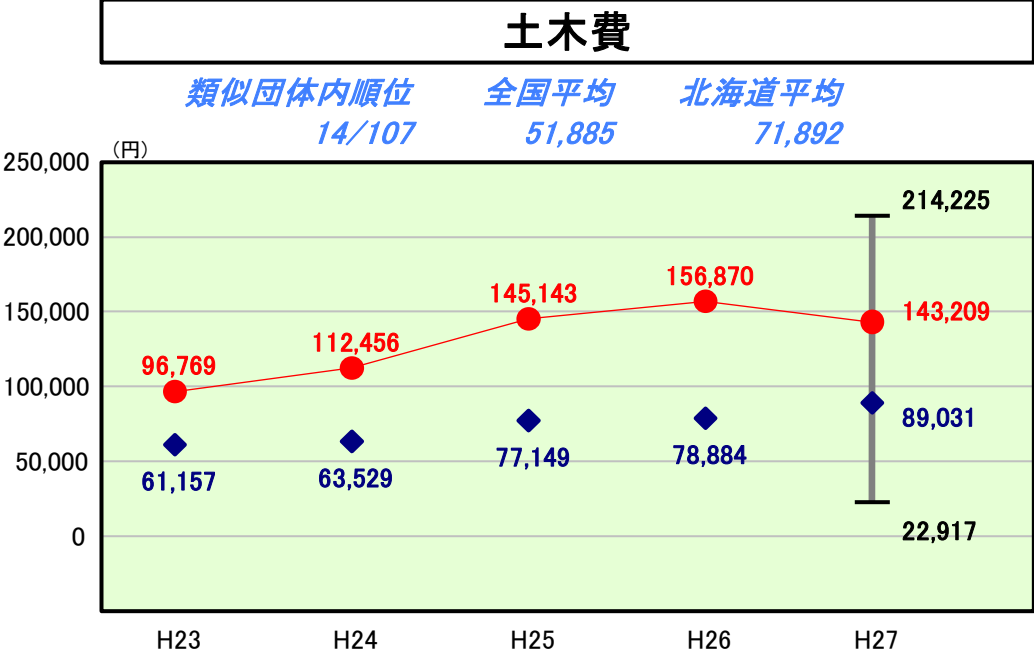
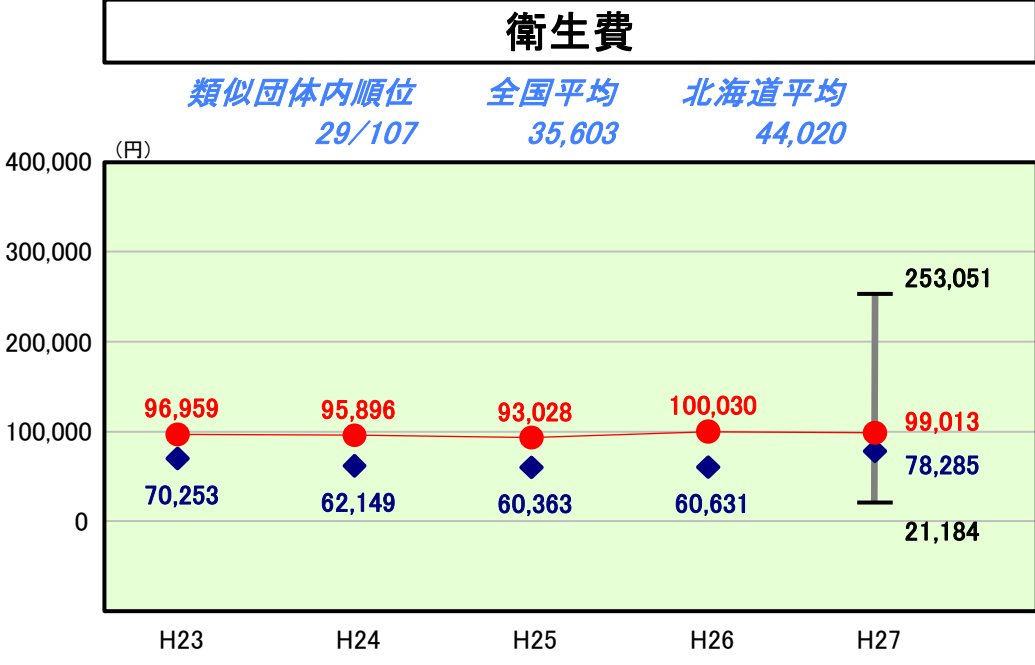
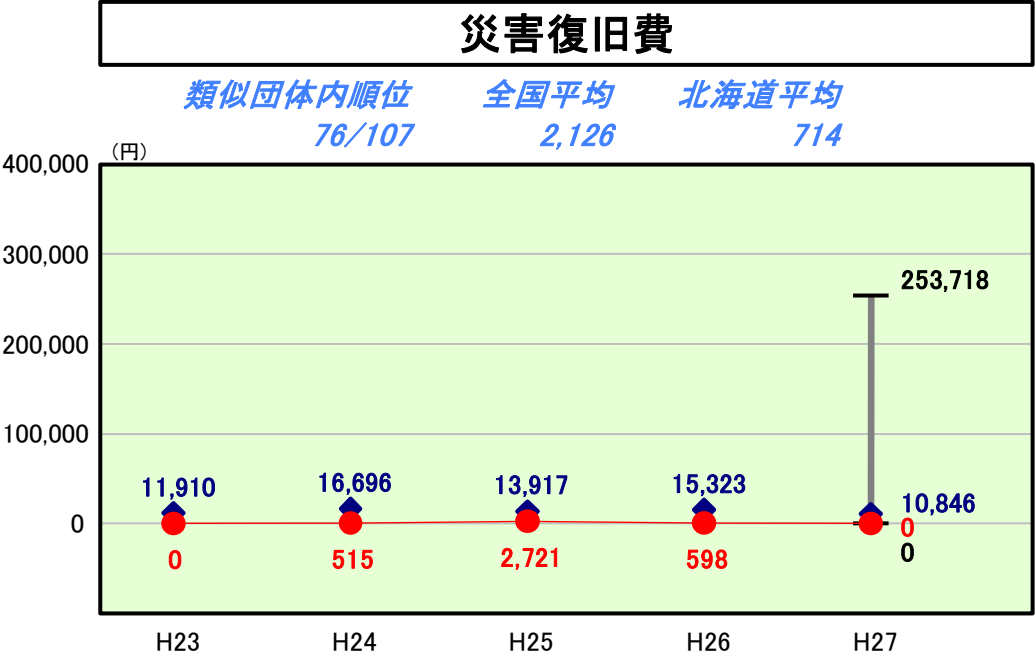
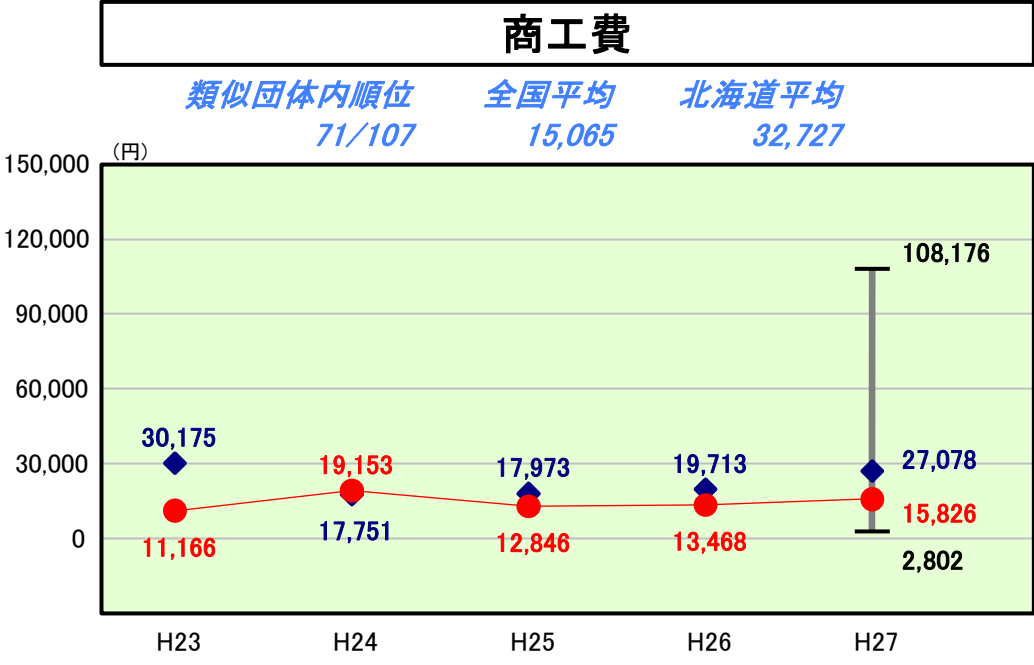
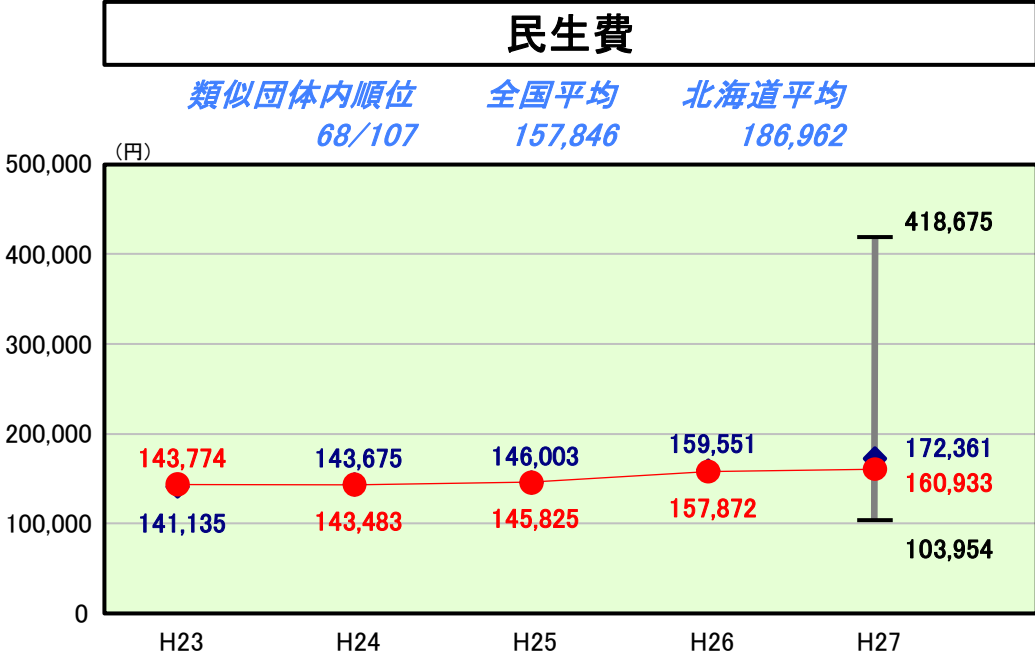
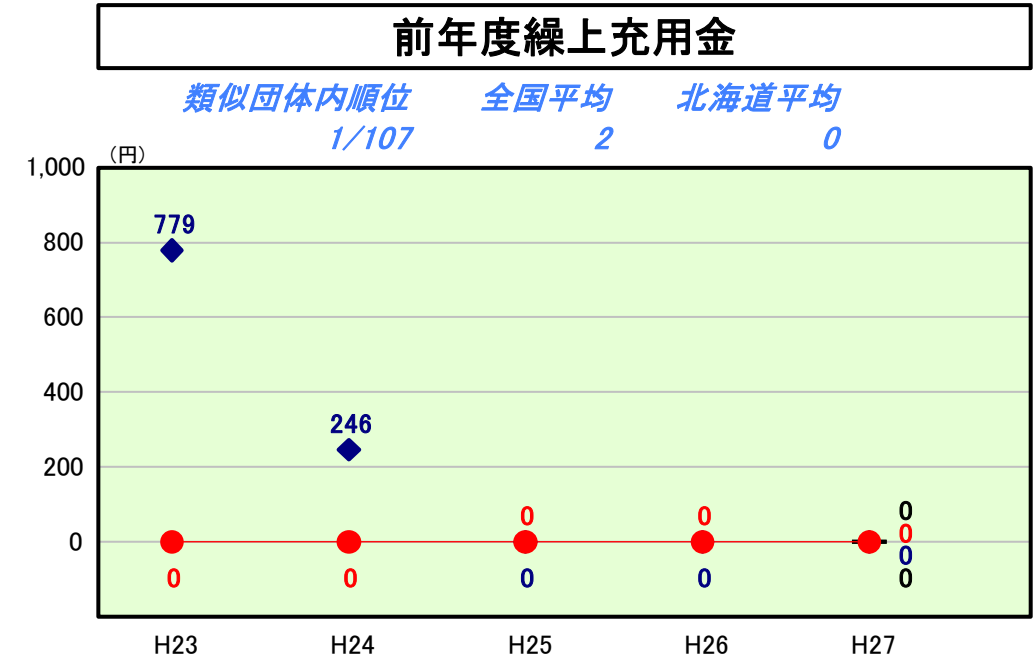
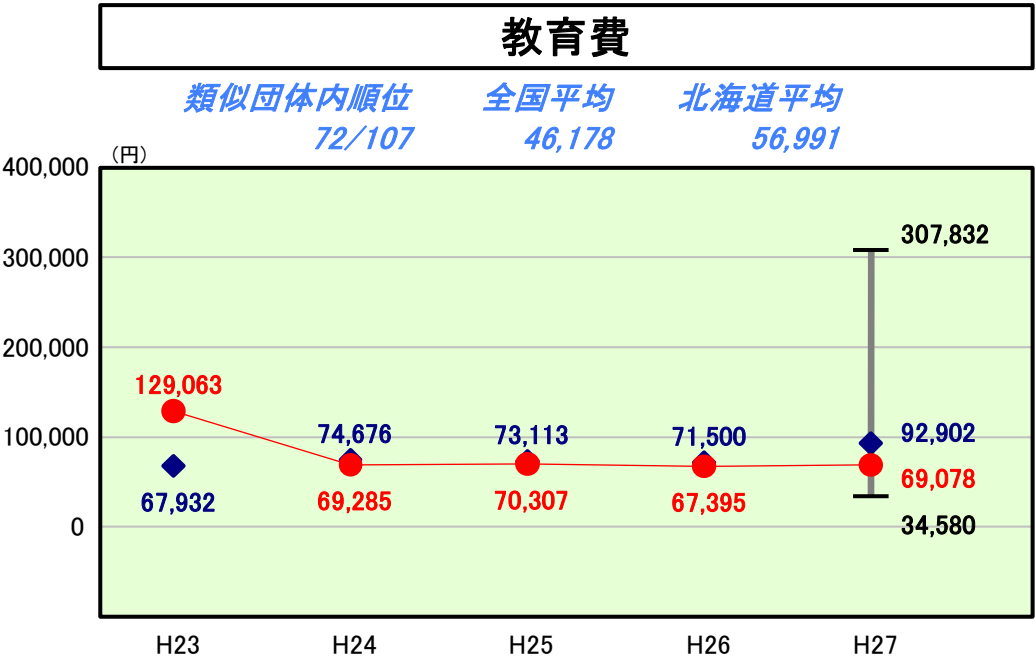
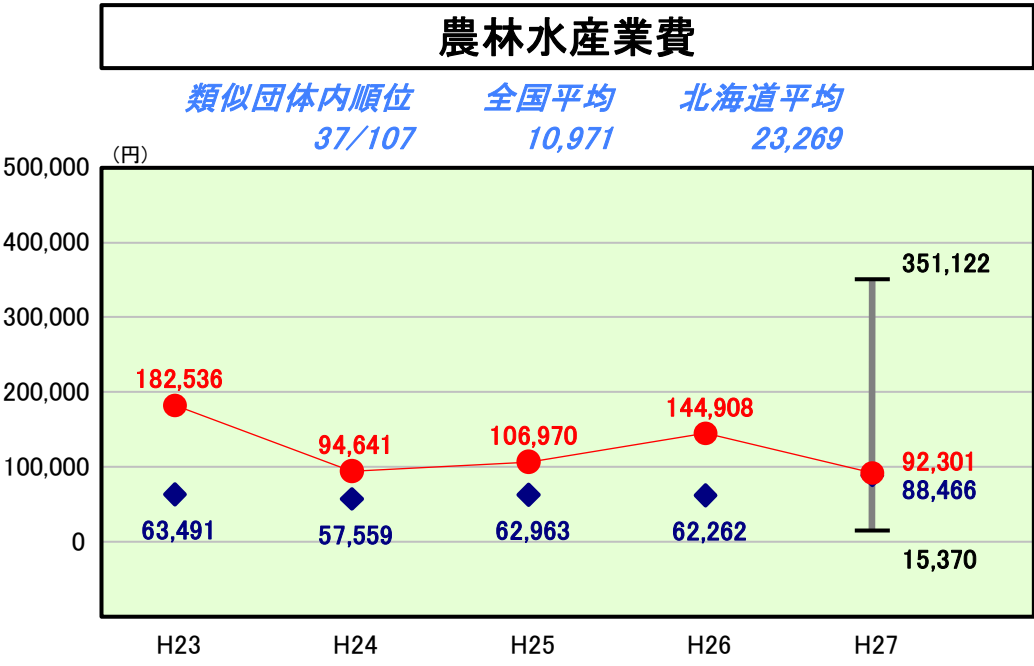
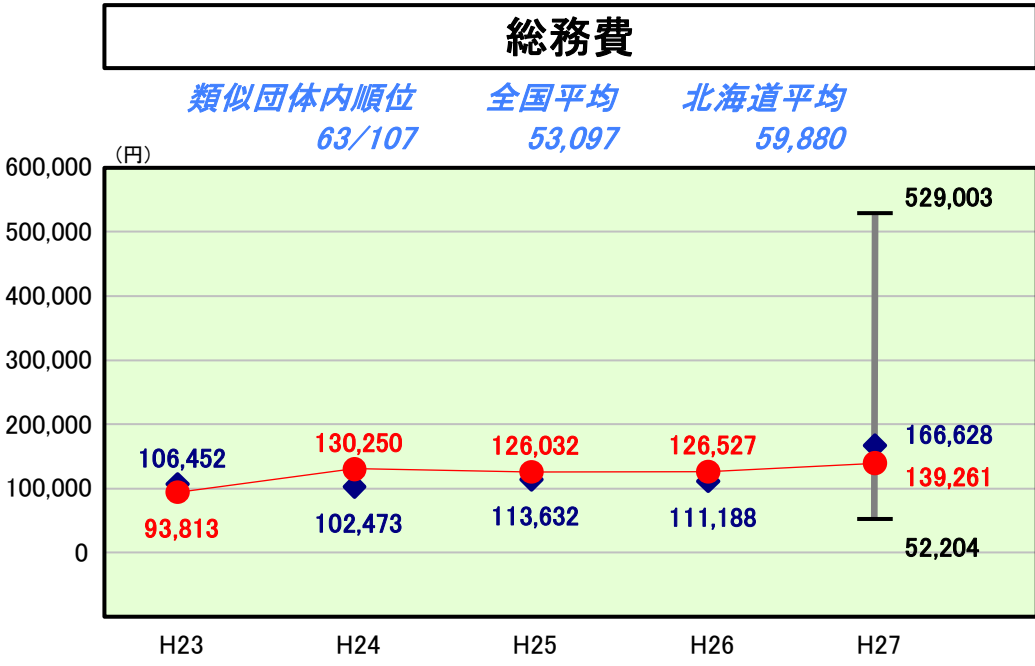
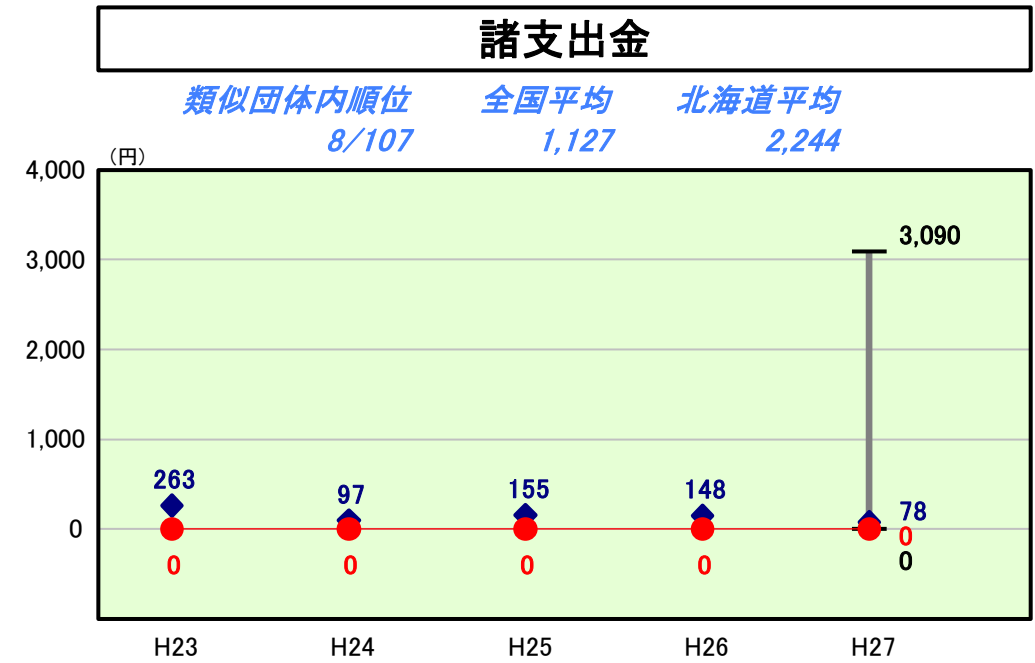
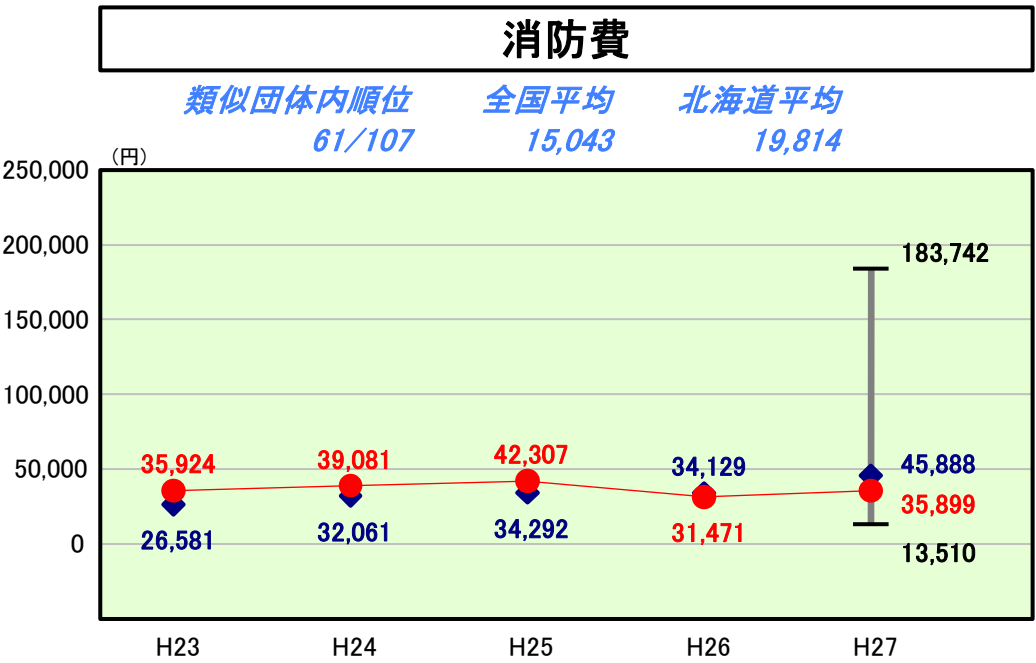
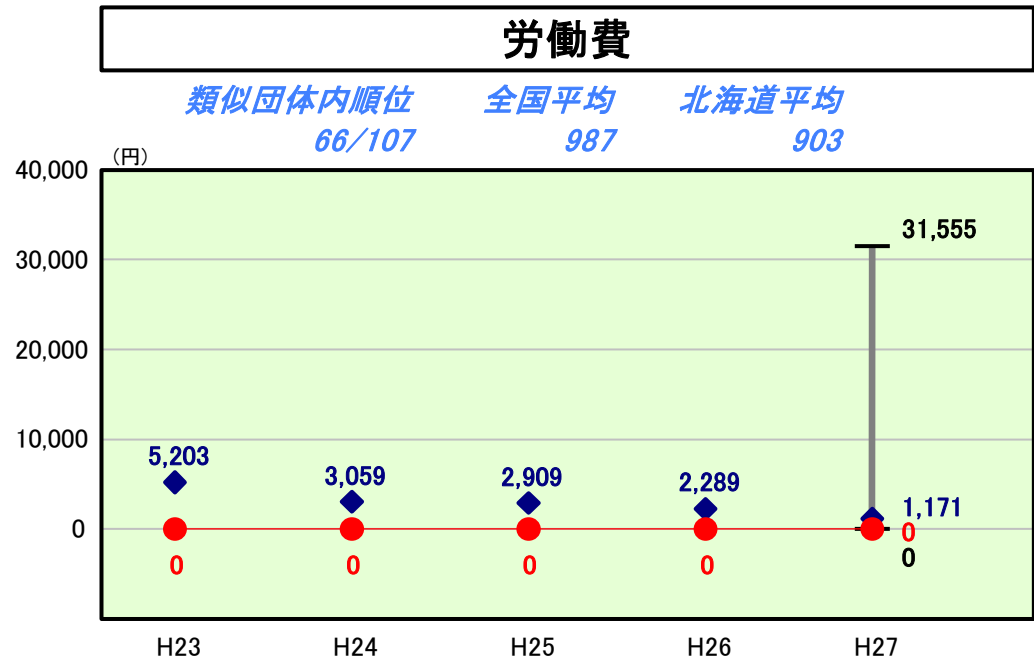
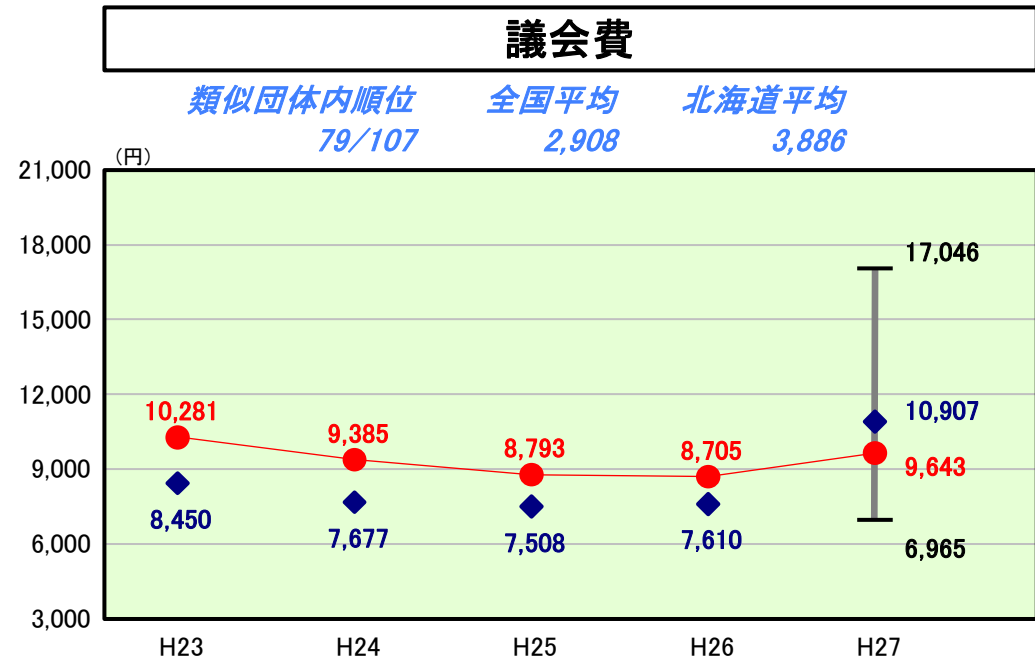
人	9,978	人(H28.1.1現在)			
うち日本	9,886	人(H28.1.1現在)			
面積	739.26	km ²	実質赤字比率	-	%
歳入総額	9,261,305	千円	連結実質赤字比率	-	%
歳出総額	8,762,794	千円	実質公債費比率	12.6	%
実質収支	487,777	千円	将来負担比率	71.1	%
標準財政規模	5,356,941	千円	市町村類型	H23Ⅲ－〇	H24Ⅲ－〇
地方債現在高	10,064,159	千円	(年度毎)	H26Ⅲ－〇	H27Ⅱ－〇



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

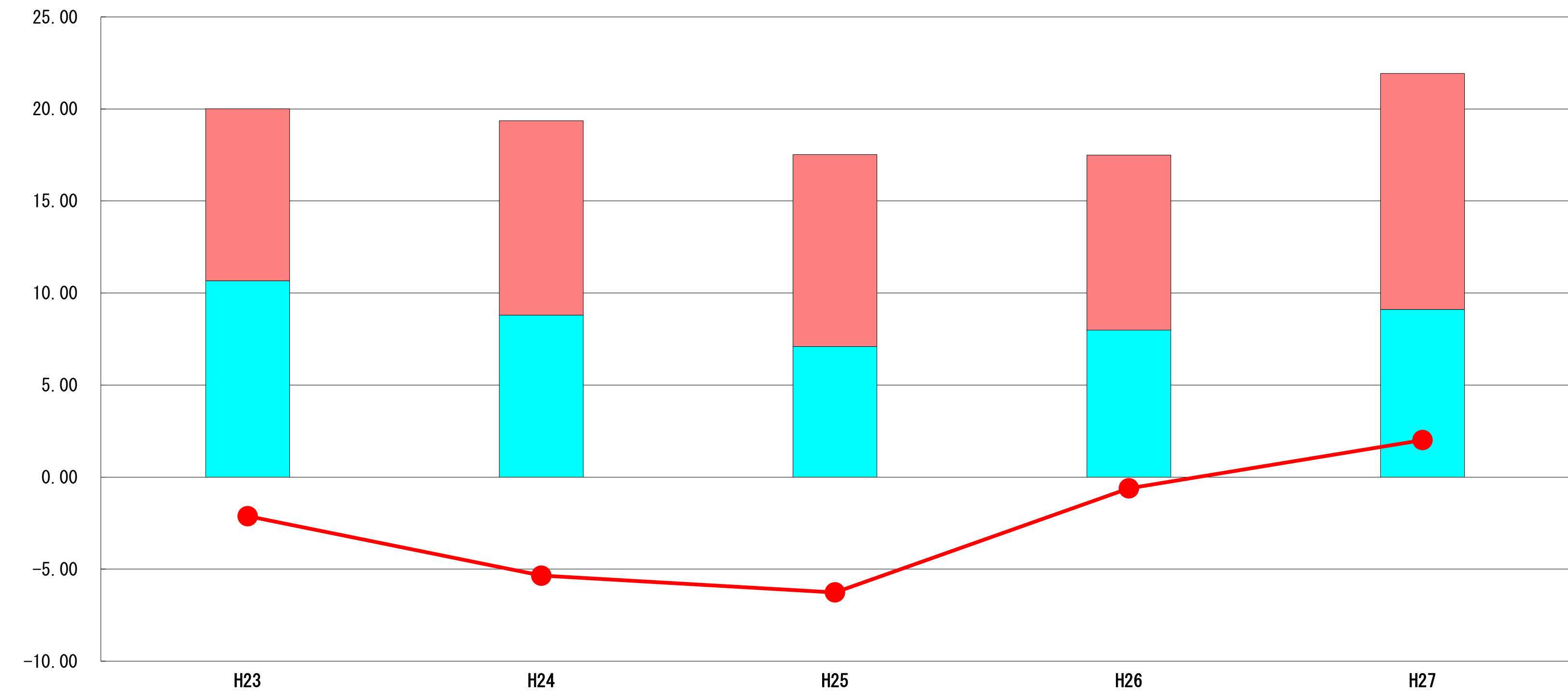
- ・土木費は住民一人当たり143千円となっている。
決算額で見ると、主に道路・橋梁整備に関する事業及び下水道事業特別会計への繰出金の占める割合が大きく、中でも道路整備事業に係る事業費の増減が年度間の指数の増減に影響している。
- ・衛生費は住民一人当たり99千円となっている。
決算額で見ると、主に病院事業会計への繰出金及びごみ処理、し尿処理等に係る経費が占める割合が大きい。
なお、平成23年度からは概ね横ばいで推移しているが、平成26年度は水道事業会計における配水池改築事業に対する一般会計出資金が含まれているために増減が出ている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成27年度

北海道厚岸町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）						
区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
財政調整基金残高		9.34	10.56	10.43	9.50	12.82
実質収支額		10.67	8.80	7.09	7.99	9.11
実質単年度収支		▲ 2.12	▲ 5.35	▲ 6.26	▲ 0.61	2.01

分析欄

標準財政規模は前年度比 1 1 6 百万円の増となっている。

一方、財政調整基金については、決算剰余金を中心に積み立てるとともに、最低水準の取り崩しに努めており、今年度の残高が前年度比 1 8 9 百万円の増となったことにより、標準財政規模比は前年度比 3. 3 2 ポイントの増となっている。

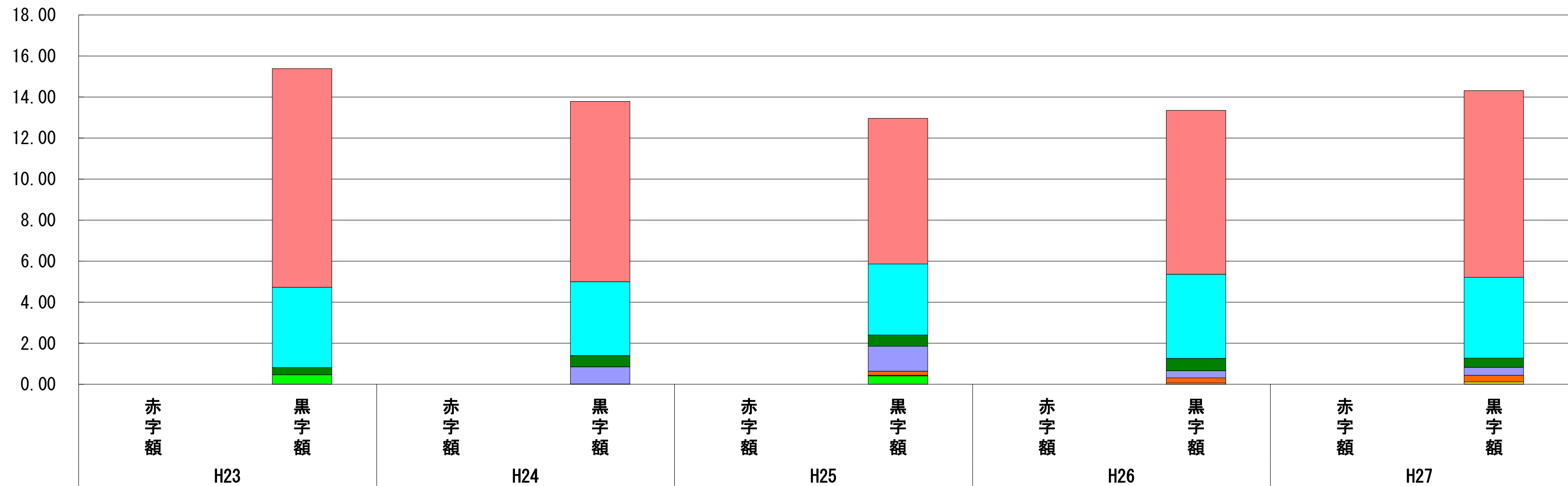
また、実質収支額は前年度比 6 8 百万円の増であり、標準財政規模比は 1. 1 2 ポイントの増となっている。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成27年度

北海道厚岸町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H23	H24	H25	H26	H27
会計						
一般会計		10.66	8.79	7.09	7.99	9.10
水道事業会計		3.91	3.60	3.47	4.09	3.93
介護保険特別会計		0.35	0.55	0.55	0.60	0.45
病院事業会計		0.00	0.83	1.21	0.36	0.39
介護老人保健施設事業特別会計		-	0.02	0.20	0.25	0.32
簡易水道事業特別会計		0.00	0.00	0.02	0.06	0.11
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.01	0.00	0.01
国民健康保険特別会計		0.47	0.00	0.41	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

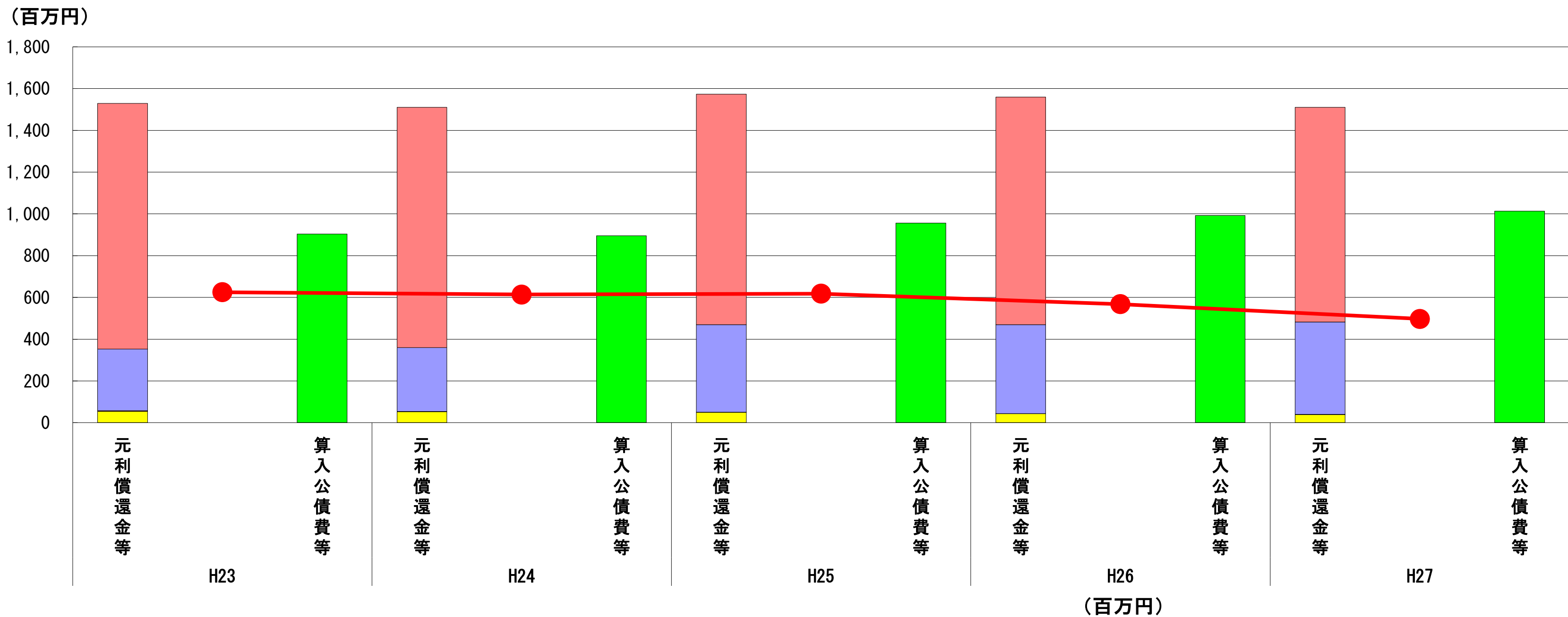
標準財政規模は前年度比116百万円の増となっている。
一般会計は、実質収支額が前年度比約69百万円の増であったため、標準財政規模比は9.10％で前年度比1.12ポイント増。
水道事業会計は、資金余剰額が前年度比約4百万円の減であったため、標準財政規模比は3.93％で前年度比0.1ポイント減。
介護保険特別会計は、実質収支額が前年度比約8百万円の減であったため、標準財政規模比は0.45％で前年度比0.15ポイント減。
病院事業会計は、資金余剰額が前年度比約2百万円の増であったため、標準財政規模比は0.39％で前年度比0.03ポイント増。
介護老人保健施設事業特別会計は、実質収支額が前年度比約4百万円の増であったため、標準財政規模比は0.32％で前年度比0.07ポイント増。
簡易水道事業特別会計は、実質収支額が前年度比約3百万円の増であったため、標準財政規模比は0.11％で前年度比0.05ポイント増。
後期高齢者医療特別会計は、実質収支額が前年度比約1百万円の増であったため、標準財政規模比は0.01％で前年度比0.01ポイント増。
国民健康保険特別会計は、実質収支額の増減が無く、標準財政規模

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

北海道厚岸町



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,176	1,150	1,105	1,091	1,028
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		296	306	419	425	442
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		3	1	1	1	1
	債務負担行為に基づく支出額		54	53	49	43	39
	一時借入金の利子		0	0	0	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		904	896	956	992	1,013
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		625	614	618	568	497

分析欄

元利償還金については、主に真龍小学校改築事業の償還完了により、前年度比で63百万円の減となった。

また、算入公債費等については、主に普通交付税基準財政需要額に算入された公債費の増によって前年度比で21百万円の増となったことで、実質公債費比率の分子は497百万円となり、前年度比71百万円の減額となっている。

今後も、引き続き大型公共事業の取捨選択を徹底するとともに、町債の新規発行の抑制を図る。

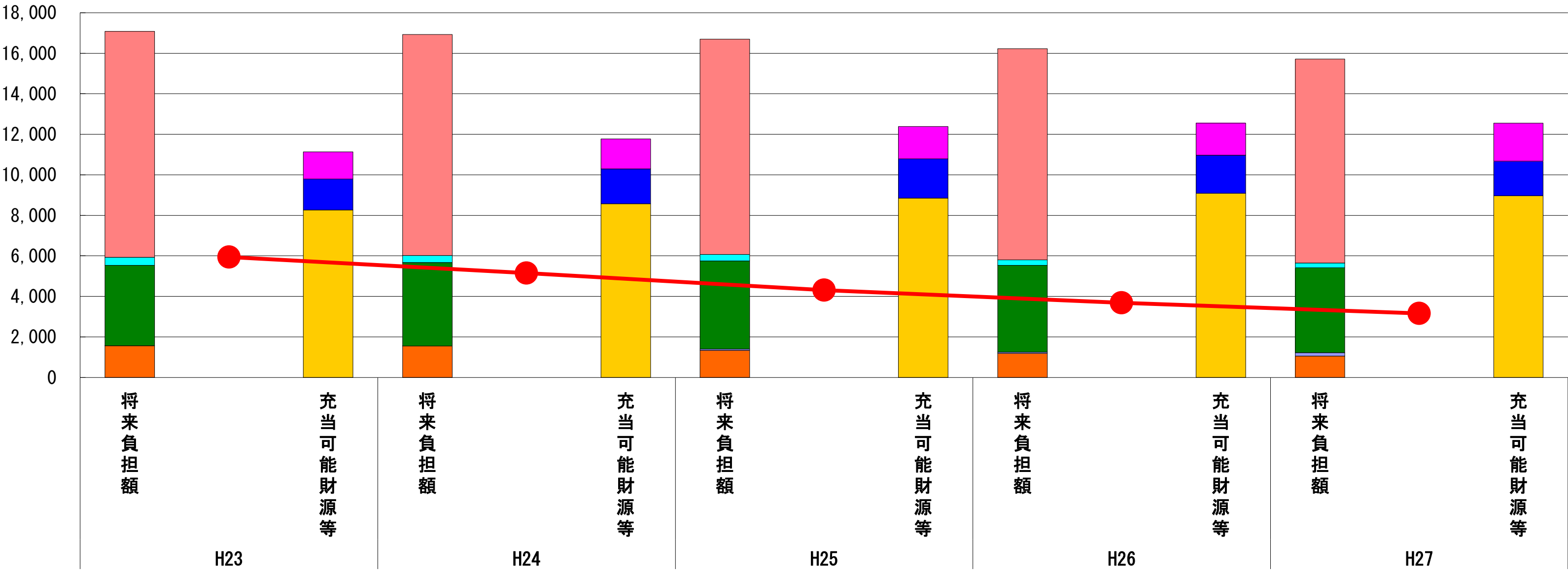
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

北海道厚岸町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		11,151	10,904	10,626	10,427	10,064
	債務負担行為に基づく支出予定額		397	349	314	271	227
	公営企業債等繰入見込額		3,967	4,126	4,354	4,283	4,200
	組合等負担等見込額		3	2	68	69	168
	退職手当負担見込額		1,566	1,546	1,333	1,175	1,054
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,351	1,490	1,594	1,579	1,884
	充当可能特定歳入		1,520	1,721	1,942	1,875	1,704
	基準財政需要額算入見込額		8,269	8,567	8,853	9,092	8,965
(A) - (B)		将来負担比率の分子	5,943	5,149	4,307	3,679	3,160

分析欄

将来負担額は、一般会計等に係る地方債の現在高で、道路事業に係る過疎対策事業債や公営住宅建設事業債等の償還完了により地方債の現在高が前年度比363百万円の減となったほか、公営企業債等繰入見込額が前年度比83百万円の減、退職手当負担見込額が前年度比121百万円の減となった。

一方、充当可能財源等については、充当可能特定歳入が前年度比で171百万円の減、基準財政需要額算入見込額についても下水道費、小学校費、保健衛生費等で前年度比127百万円の減であったが、充当可能基金の増があったため、前年度比7百万円の増となった。

今後も、引き続き地方債における新規発行を元金償還額以下とすることを原則とし、縁故債の繰上償還を行うなど、地方債残高の減少に努める。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成27年度

北海道厚岸町

人	9,978	人(H28.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
う ち 日 本 人	9,886	人(H28.1.1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面 積	739.26	km ²	実 質 公 債 費 比 率	12.6	%
歳 入 総 額	9,261,305	千円	将 来 負 担 比 率	71.1	%
歳 出 総 額	8,762,794	千円	市 町 村 類 型	H23 Ⅲ－〇	H24 Ⅲ－〇
実 質 収 支	487,777	千円	(年 度 毎)	H26 Ⅲ－〇	H27 Ⅱ－〇
標 準 財 政 規 模	5,356,941	千円			
地 方 債 現 在 高	10,064,159	千円			

● 当 該 団 体 値

◆ 類似団体内平均値

※ 有形固定資産減価償却率は平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成28年10月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

有形固定資産減価償却率

有形固定資産減価償却率

[-]

類似団体内順位

-/-

全国平均

55.6

北海道平均

56.6

債務償還可能年数

債務償還可能年数

[-]

全国平均

22.9

北海道平均

18.2

固定資産台帳整備中・未整備

有形固定資産減価償却率の分析欄

財務書類作成中・未作成

債務償還可能年数の分析欄

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移

固定資産台帳整備中・未整備

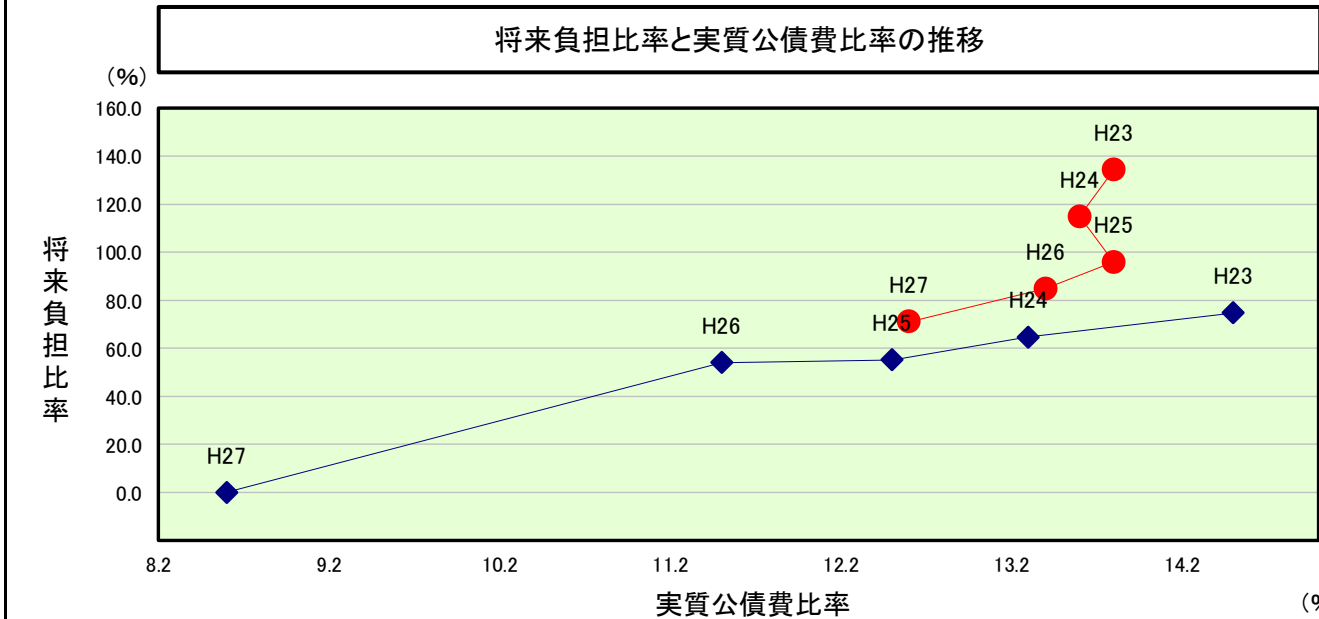
分析欄

--

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率					
	有形固定資産減価償却率					
類似団体内平均値	将来負担比率					
	有形固定資産減価償却率					

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

将来負担比率及び実質公債費比率共に類似団体と比較して高い水準で推移している。
これは、平成14年度から実施している厚岸町財政運営基本方針により投資事業を抑制してきたことで元利償還金の増加が抑えられ、平成16年度をピークに減少傾向となっていたが、平成24年度からの大型公共施設の整備事業により類似団体平均を上回ることとなった。
なお、真龍小学校改築事業など一部の大型事業が前年度で償還完了したことにより、将来負担比率は前年度比13.7ポイントの減、実質公債費比率は前年度比0.8ポイントの減となっている。
今後も大型投資事業の適切な取捨選択による新規発行額の抑制等により、後世への負担を少しでも軽減するよう財政の健全化を図る。

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	134.2	114.8	95.8	84.8	71.1
	実質公債費比率	13.8	13.6	13.8	13.4	12.6
類似団体内平均値	将来負担比率	74.8	64.7	55.2	54.0	0.0
	実質公債費比率	14.5	13.3	12.5	11.5	8.6

(12)ー1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成27年度

北海道厚岸町

人	9,978	人 (H28. 1. 1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
う ち 日 本 人	9,886	人 (H28. 1. 1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面 積	739.26	km ²	実 質 公 債 費 比 率	12.6	%
歳 入 総 額	9,261,305	千円	得 来 負 担 比 率	71.1	%
歳 出 総 額	8,762,794	千円	市 町 村 類 型	H23 Ⅲ－〇 H24 Ⅲ－〇 H25 Ⅲ－〇	
実 質 収 支	487,777	千円	(年 度 毎)	H26 Ⅲ－〇 H27 Ⅱ－〇	
標 準 財 政 規 模	5,356,941	千円			
地 方 債 現 在 高	10,064,159	千円			

※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄

(12)–2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成27年度

北海道厚岸町

人	口	9,978	人 (H28. 1. 1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
う	ち	日	本	人	連	結	実	質	赤	-	%
面	積	739.26	km ²	将	来	負	担	比	率	12.6	%
歳	入	総	額	市	町	村	類	型		71.1	%
歳	出	総	額	実	質	収	支				
実	質	収	支								
標	準	財	政	規	模						
地	方	債	現	在	高						

- ※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄